

教育に関する事務の管理及び執行の状況 の点検及び評価の結果に関する報告書

(平成28年度実績)

I 点検・評価制度の概要

1 実施根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられていることに伴い実施するものである。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の組織であり、生涯学習、地域の学校教育、社会教育、文化等の幅広い教育行政における基本方針を決定し、それに基づいて教育長が事務局を指揮監督し具体の事務を執行するものである。

本報告書は、上記基本方針に基づいて行われた教育行政の執行状況について、点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、地域住民への説明責任を果たすことを目的としている。

3 対象事業の考え方

今回の点検・評価は、平成28年度事業とし、「第2次名護市教育振興基本計画（平成26年度～30年度）」を基本として、具体的施策名ごとに位置付けられている主な取組について対象とした。ただし、経常的で評価にそぐわない項目及び既に完了した施策については除いた。

4 名護市教育行政点検・評価に係る学識経験者懇話会の設置

点検・評価を行うに当たって、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図るため、名護市教育行政点検・評価に係る学識経験者懇話会（以下、「懇話会」という。）を設置した。

なお、懇話会会員の委嘱に当たっては、学校教育、社会教育及び教育行政分野の識見を有する方を以下のとおり選任した。

- 太田 佐栄子氏：沖縄工業高等専門学校准教授
- 末吉 司氏：NPO法人北部地域ITまちづくり協働機構（HICO）理事長
- 小橋川 好美氏：元小学校校長

5 評価方法

具体的施策ごとに4つの項目と総合評価を設定した。総合評価は、教育委員会による内部評価に加え、懇話会による外部評価を加えることで、評価の客観性を確保した。なお、「主な取組」の評価基準及び施策総合評価基準については、次のとおりである。

(1) 「主な取組」の評価基準

主な取組ごとにそれぞれ評価を行う。

評価	評価の基準
A	取組の目的が達成できた
B	取組の目的が概ね達成できた
C	取組の目的達成が不十分であった
D	取組の目的が達成できていない

(2) 施策総合評価基準

主な取組ごとの評価に対して施策全体としての評価を行う。

評価	評価の基準
A	目的が十分達成できた
B	目的が概ね達成できた
C	目的達成が不十分であった
D	目的が達成できていない

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会教育委員(平成29年11月1日現在)

役職	氏名	任期
教育長	座間味 法子	2期:平成28年2月1日～
教育長 職務代理者	照屋 厚	2期:平成29年7月1日～
委員	宮城 博	2期:平成28年2月1日～
委員	大城 千代子	2期:平成29年7月1日～
委員	名嘉 チエミ	1期:平成28年7月9日～

2教育委員会の開催状況

(平成28年度)

区分	年月日	議案番号	議案名	結果
273定例会	H28. 4. 15	議案第21号	真喜屋運動広場整備事業用地の取得について	承認
		議案第22号	名護市教育支援委員の委嘱について	承認
337臨時会	H28. 5. 23	議案第23号	平成28年度名護市一般会計(教育費予算(補正第2号))の要求について	承認
		議案第24号	市指定文化財の名称変更について	承認
		議案第25号	教育委員会事務局職員の人事異動について	承認
274定例会	H28. 6. 28	議案第26号	名護市博物館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第27号	名護市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第28号	学校長に対する事務の委任に関する規程の一部を改正する規程の制定について	承認
		報告第4号	専決処分の報告について(文化財保存調査委員の委嘱について)	承認
275定例会	H28. 8. 30	議案第29号	平成28年度名護市一般会計補正予算(第3号)の要求について	承認
		議案第30号	真喜屋運動広場整備工事請負契約について	承認
		議案第31号	平成29年度使用教科用図書の採択について	承認
		議案第32号	名護市立幼稚園保育料条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	承認

275定例会	H28. 8. 30	議案第33号	名護市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第34号	市指定文化財の新規指定について	承認
		議案第35号	平成29年度名護市立幼稚園における休園・混合保育に関する考え方について	承認
		その他	平成29年度名護市の教育について	
		その他	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書(平成27年度実績)について	
		その他	平成29年度の組織改正について	
		その他	名護市立幼稚園における複数年教育・保育の施行実施について	
338臨時会	H28. 9. 6	議案第36号	県費負担教職員人事異動(管理職)の内申について	承認
276定例会	H28. 10. 6	議案第37号	名護市社会教育委員の委嘱について	承認
339臨時会	H28. 10. 31	議案第38号	(仮称)名護第二学校給食センターの建設候補地及び調理能力について	承認
340臨時会	H28. 11. 28	議案第39号	平成28年度名護市一般会計補正予算(第5号)の要求について	承認
		議案第40号	名護市学校給食センター運営委員の委嘱について	承認
		議案第41号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書(平成27年度)について	承認
		議案第42号	平成28年度名護市教育功労者の承認について	承認
		報告第5号	名護中学校校舎改築工事(その2)請負契約の契約金額を変更する契約に係る専決処分事項の報告について	承認
		報告第6号	平成28年度名護市学校給食センター予算の報告について	
277定例会	H28. 12. 27	議案第43号	名護市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		報告第7号	平成27年度名護市学校給食センター決算の報告について	
278定例会	H29. 2. 2	議案第1号	平成29年度教育委員会重点施策の策定について	承認
341臨時会	H29. 2. 21	議案第2号	平成29年度県費負担教職員定期人事異動(管理職・一般)の内申について	承認
		議案第3号	平成29年度教育委員会人事異動方針について	承認

341臨時会	H29. 2. 21	議案第4号	平成29年度教育委員会組織編成方針について	承認
		報告第1号	専決処分の報告について(物品の購入について(教育用実物投影機))	承認
342臨時会	H29.2.27	議案第5号	平成29年度名護市一般会計教育費予算について	承認
		議案第6号	平成28年度名護市一般会計(教育費予算(補正第7号))の要求について	承認
		議案第7号	平成29年度県費負担教職員定期人事異動(新規採用・再任用)の内申について	承認
		議案第8号	平成29年度4月定期人事異動について	承認
		報告第2号	名護小学校校舎改築工事(その2)請負契約の契約金額を変更する契約に係る専決処分事項の報告について	承認
		報告第3号	瀬喜田小学校校舎改築工事請負契約の契約金額を変更する契約に係る専決処分事項の報告について	承認
		報告第4号	羽地中学校校舎改築工事請負契約の契約金額を変更する契約に係る専決処分事項の報告について	承認
343臨時会	H29. 3. 28	議案第9号	名護市教育委員会の権限に属する事務の委任に関する規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第10号	名護市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第11号	名護市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について	承認
		議案第12号	名護市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する規程の制定について	承認
		議案第13号	名護市社会教育指導員設置等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第14号	名護市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第15号	平成29年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	承認
		議案第16号	名護市教育情報化推進計画の策定について	承認
		議案第17号	名護市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	承認

3 教育委員会教育委員の主な活動

(平成28年度)

月 日	活動内容
5月11日	教育委員学校訪問(緑風学園)
5月12日・13日	沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会
5月17日	教育委員学校訪問(屋我地ひるぎ学園)
6月1日	教育委員学校訪問(真喜屋小)
6月3日	国頭地区市町村教育委員会協議会総会
6月8日	教育委員学校訪問(羽地小)
6月30日	教育委員学校訪問(瀬喜田小)
7月6日	教育委員学校訪問(名護中)
7月13日	教育委員学校訪問(屋部小)
10月6日	第2回名護市教育行政点検評価に係る学識経験者懇話会
10月7日	第3回名護市教育行政点検評価に係る学識経験者懇話会
10月12日	平成28年度沖縄県市町村教育委員会研修会
11月11日	国頭地区市町村教育委員会協議会研修会及び情報交換会
2月13日	平成28年度市町村教育委員会委員・教育長研修会

4 教育長の主な活動

(平成28年度)

月 日	活動内容
4月1日	教育委員会辞令交付式(新採用・出向者、内部異動職員)
	市長部局辞令交付式
4月4日	転入教職員辞令交付式・教育講演会
4月5日	学校給食センター臨時職員辞令交付式
	春の交通安全運動出発式
	【表敬】名護市交通安全母の会
4月6日	平成28年度名桜大学入学式
4月7日	屋我地ひるぎ学園出発式
4月8日	屋我地ひるぎ学園入学式
4月11日	平成28年度教育研究所研究員入所式

月 日	活動内容
4月13日	羽地中学校起工式
4月14日	沖縄県教育委員会教育長等 訪問
4月15日	名護小学校起工式
	第273回教育委員会定例会
4月16日	名護市婦人会定期総会
4月17日	家庭教育支援講演会
4月18日	小・中学校長研修会
4月19日	国頭教育事務所長 訪問
4月20日	小・中学校教頭及び事務職員研修会
4月21日	第270回名護市議会臨時会
	名護市育英会審査会
	教員養成講座調整会議
	国頭地区PTA連合会総会及び懇親会
4月23日	タピック 屋我地ビーチ海開き
4月24日	【市長代理】安和区区民運動会
	【市長代理】宮里区区民運動会
4月25日	NAGOURAマラソン報告会
	屋我地小学校 訪問
4月26日	名護市更生保護女性会定期総会
	幼稚園長・教頭・教諭研修会
4月27日	沖縄地区史跡整備市町村協議会監査
	副市長退任辞令交付式及び退任式
4月28日	第1回市町村教育委員会教育長連絡協議会及び懇親会
4月29日	屋我地支所落成式
	屋我地ひるぎ学園開校式典
4月30日	羽地ダム鯉のぼり祭りオープニングセレモニー
	大浦マングローブ林自然体験施設オープニングセレモニー及び祝賀会
5月7日	第47回名護市ミニバスケットボール大会
5月9日	平成28年度北部振興会第1回評議員会

月 日	活動内容
5月9日	平成28年度北部振興会第1回総会及び北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会
5月10日	浦島氏・石川氏 来訪
	うみのほし幼稚園 シスター田中・徳永先生 訪問
5月11日	名護学院キッズライブラリー 訪問
	教育委員学校 訪問【緑風学園】
	名護市青少年育成協議会定期総会
5月12日	沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会 ～13日（金）
5月13日	伊集祭り
	新PTA会員歓迎会（屋我地ひるぎ学園）
5月16日	第271回名護市議会臨時会
	沖縄県中小企業家同友会北部支部第27回記念講演及び懇親会
5月17日	副市長辞令交付式及び就任式
	教育委員学校訪問【屋我地ひるぎ学園】
	名護市学力向上推進運営委員会
	教頭会歓迎会・懇親会
5月18日	第68回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会徳島大会 ～21日（土）
5月23日	第337回教育委員会臨時会
5月24日	第272回名護市議会臨時会
5月25日	評価システム校長面談[当初]
	宮城弘氏 来訪（画集贈呈）
	租税推進協議会総会
5月26日	評価システム校長面談[当初]
	細水保宏氏 算数・数学講演会及び懇親会
5月27日	名護学院崎浜理事長 来訪
	契約締結式（真喜屋運動広場）
5月28日	第26回やんばる駅伝与論島大会 ～29日（日）
5月30日	評価システム校長面談[当初]
	新規採用職員との懇親会
5月31日	評価システム校長面談[当初]

月 日	活動内容
6月1日	教育委員学校訪問【真喜屋幼・小学校】
	大中郵便局長等 来訪
	名護市剣道連盟会長 与那覇 正 氏 来訪
	学校評議員委嘱状交付式・事例発表会
6月2日	評価システム校長面談[当初]
	勝山区 真栄田先生 来訪
	名護市学力向上推進運営委員会総会
6月3日	平成28年度国頭地区市町村教育委員会協議会[幹事会・総会・情報交換会]
6月4日	北部地区スポーツ推進委員実技研修会情報交換会
6月6日	名護市職員分限・懲戒審査委員会
	沖縄県ロック協会 来訪（50周年記念誌贈呈）
6月7日	定例記者会見
	名護市遺族会 来訪（資料DVD贈呈）
	名護地区安全なまちづくり推進協議会総会
6月8日	教育委員学校訪問【真喜屋幼・小学校】
6月9日	第183回名護市議会定例会 議案上程及び説明
	臨時校長会
6月11日	第22回高校生とともに考えるやんばるの沖縄戦
6月13日	第183回名護市議会定例会 議案質疑
6月14日	第183回名護市議会定例会 一般質問
	平成28年度名護市青少年育成協議会屋我地支部定期総会
6月15日	第183回名護市議会定例会 一般質問
6月16日	海洋研究開発機構 来訪
	第183回名護市議会定例会 一般質問
6月17日	第183回名護市議会定例会 一般質問
	島袋里奈さん追悼名護市民集会
6月18日	教育講演会「ネット・スマホから子どもを守るために」
	【市長代理】男女共同参画月間標語・写真表彰式
	やんばる芸能の集い

月 日	活動内容
6月19日	沖縄県子ども会育成連絡協議会平成28年度第16回通常総会
6月20日	第183回名護市議会定例会 一般質問
6月21日	第183回名護市議会定例会 一般質問
	平和祈願祭 久志・黎魂の塔
6月22日	教育長訓示
	第183回名護市議会定例会 一般質問
6月24日	平成28年度名護市民大会緊急代表者会議
6月25日	国際バカロレア初等教育課程認定校オキナワインターナショナルスクール公開授業
	『源河誌』発刊祝賀会
6月26日	やんばるサイクリング
6月27日	名護市育英会総会
6月28日	山浩商事55周年記念事業報告
6月29日	池間 学 氏 来訪（在北部宮古郷友会）
	東京書籍 来訪
	名護ライオンズクラブ第55回新旧役員交代式及び新会員入会式
6月30日	教育委員学校訪問【瀬喜田幼・小】
	教育研究所運営審議会
7月1日	新城 光 氏 来訪
7月2日	第26回北部地区吹奏楽コンクール
	あすなろグレース保育園落成式及び祝賀会
	名護市婦人会講演会及び交流会
7月3日	名護市PTAバレーボール大会
7月4日	名護警察署 訪問
7月5日	台湾交流校長等 来訪
	定例記者会見
	名護市子ども夢基金寄附金贈呈式（国吉設計）
	「なごの日」まちなか交流マルシェオープニングセレモニー
7月6日	教育委員学校訪問【名護中】
	「青少年の深夜はいかい防止・未成年者飲酒防止・夏の交通安全運動・いじめ・暴力根絶」市民大会

月 日	活動内容
7月7日	名護税務署長 来訪
	フレッシュミートがなは 来訪（かぼちゃ寄贈）
	名護市管理職及びミドルリーダー研修会及び懇親会
7月8日	名護市文化財保存調査委員会委嘱状交付式
7月9日	第10回日本語弁論大会
7月10日	中央図書館特別おはなし会（新見南吉絵本・原画展）
7月11日	教育委員辞令交付式
	名護市青少年の主張大会
7月12日	名護市校長会 来訪
	葉書「かもめ〜る」贈呈式
7月13日	教育委員学校訪問【屋部幼・小】
	小中学校理科クラブ等設置校担当者及び理科専科教諭等連絡会
7月14日	国頭地区市町村教育委員会協議会臨時教育長部会
7月15日	第1回沖縄県都市教育長協議会【名護市開催】
7月17日	第27回屋我地サイクルロードレース大会
7月20日	名護税務署長 来訪
7月21日	俳句授業見学【安和小】
	第43回沖縄県中学校総合体育大会総合開会式
7月22日	学校法人佐藤学園校長及び理事長 来訪
	第1期ガチンコ市長塾（第1回及び懇親会）
7月23日	昆虫採集・同定標本づくり（名護青少年の家）
	子ども食堂見学
	講演会・シンポジウム《詩を書くということ・読むということ》
7月24日	中央図書館上映会（はなちゃんのみそ汁）
7月26日	第2回小中校長研修会及び懇親会
7月27日	海外短期留学派遣者激励会
	学校運営協議会設置推進検討懇話会委嘱状交付式及び第1回懇話会
7月29日	沖縄県生涯学習振興課等 来訪（CGG運動協力依頼・青少年健全育成意見交換）
	滝川児童交歓会歓迎レセプション及び食事会

月 日	活動内容
7月31日	夏祭り夜間街頭指導活動
8月1日	永年勤続職員表彰
	名護市市制46周年記念懇親会
8月2日	海外短期留学派遣出発式
	沖縄県適応指導教室連絡協議会 第1回適応指導教室担当者等研修会
8月3日	沖縄県公立文教施設整備期成会理事会及び総会【理事会：市長代理】
8月4日	定例記者会見
8月5日	2016年歴史教育者協議会 第68回全国大会
8月6日	第39回沖縄県ミニバスケットボール夏季大会
	愛楽園夏祭り
8月9日	嘉数悠子ロッキーマンチャレンジ賞受賞講演会
8月10日	第36回北部地区老人ゲートボール大会【市長代理】
	瀬名波 榮吉 氏、上間 長徳 氏 死亡叙勲伝達式
	北部連合文化協会 平成28年度定期総会【市長代理】
8月12日	名護市経済講演会「広域地域連携による北部地域の活性化」（大西達也氏）
	第32回全国小学生陸上競技交流大会出場選手激励会
8月13日	「大西区子育て支援事業」開講式
8月14日	夏休み子ども書道教室
8月18日	ハワイ郡ヒロ2016ハーリーボートフェスティバル【市長代理】 ～23日（火）まで
8月25日	名護市育英会入学準備金審査会
8月26日	沖縄2020事前キャンプ等誘致推進委員会【市長代理】
8月27日	豊原区夏まつり【市長代理】
	大西区夏まつり【市長代理】
8月30日	第275回教育委員会定例会
9月3日	沖縄県ミニバスケットボール3on3大会
	第27回名護市青年エイサー祭り
9月4日	オリンピック東京大会聖火宿泊記念第52回久志駅伝大会
9月6日	第338回教育委員会臨時会
9月9日	【市長表敬】琉球コラソン 来訪

月 日	活動内容
9月9日	【市長代理】 宮里区 豊年祭
9月10日	【市長代理】 屋部区 八月踊り
	【市長代理】 山入端区 豊年祭
9月11日	【市長代理】 第61回九州沖縄男子ボディビル・フィットネス選手権大会
	【市長代理】 安和区 敬老会
9月12日	第184回名護市議会定例会 議案説明
	ガチンコ市長塾 第1期第3回
	『名護・やんばるの沖縄戦』出版記念講演会
9月13日	定例記者会見
	ハワイ郡副郡長 市長表敬
	ハワイ郡副郡長歓迎夕食会
9月14日	第184回名護市議会定例会 議案質疑
	名護市学推運営委員会
9月15日	第184回名護市議会定例会 一般質問
	秋田大学 阿部 昇 先生 懇親会
9月16日	第184回名護市議会定例会 一般質問
9月17日	ルアウパーティー
9月19日	ガンジュウ城アカデミー開設披露
9月20日	第184回名護市議会定例会 一般質問
	秋の交通安全運動出発式
9月21日	第184回名護市議会定例会 一般質問
9月23日	第184回名護市議会定例会 一般質問
9月24日	平成28年度沖縄県中学校対抗団体戦卓球大会
9月25日	【市長代理】 第35回羽地支部老人・婦人合同運動会
9月26日	平成28年度第42期教育研究員成果報告会・修了式並びに第43期教育研究員入所式
9月27日	沖縄キリスト教学院大学 訪問
9月29日	大城 博 氏 叙勲伝達式
10月1日	第43回国頭地区陸上競技大会
10月1日	うみのほし幼稚園第50回運動会

月 日	活動内容
10月1日	土地言葉シンポジウムin名護
10月1日	第2回なりやまあやぐ大会
10月5日	教職員評価システム校長面談（中間）
	真喜屋運動広場起工式並びに安全祈願祭
	平成28年度北部農林高校定時制課程第58回前期卒業式
10月6日	教育長講話：教育研究所
	【市長代理】「ナンナムイネイチャーリゾート」内覧会
	名護市行政点検・評価に係る学識経験者懇話会
	第276回名護市教育委員会定例会
10月7日	名護市教育行政点検・評価に係る学識経験者懇話会
	名護市友好都市歓迎交流会
10月8日	第32回やんばるの産業まつりオープニングセレモニー
10月9日	【市長代理】第37回名護支部老人・婦人運動会
	池田 清彦 氏 講演会
	屋我区豊年祭
10月10日	城区奉納例祭
10月11日	ガチンコ市長塾1期第5回
10月12日	平成28年度沖縄県市町村教育委員会研修会
10月13日	教職員評価システム校長面談（中間）
	名護市立教育研究所運営審議会
10月14日	日本ハム応援ツアー出発式
	教職員評価システム校長面談（中間）
	名護学院キッズライブラリー感謝祭
10月15日	【市長代理】為又区敬老会
	【市長代理】第8回三原まつり
10月16日	名護市青少年育成協議会リーダー研修報告会
	安和区ウシデーク
10月17日	定期人事説明会（国頭教育事務所）
	国頭地区教育長部会県外研修（愛媛県） ～19日

月 日	活動内容
10月20日	九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（福岡県） ～21日
10月22日	【市長代理】 大中区敬老会
10月23日	【市長代理】 第37回久志支部老人・婦人運動会
	第41期子供の本の学校 第2講「日々の生活の中に落ちている絵本の種」
10月24日	ガチンコ市長塾2期第3回
	SUP世界大会3位報告
10月25日	第3回小中校長研修会
10月26日	日本ハム日本シリーズ応援ツアー出発式
	名護中学校サイエンスクラブ 来訪
	社会教育委員委嘱状交付式
10月27日	東京書籍 来訪
10月28日	程順則展オープニングセレモニー及び厨子贈呈式
	名護市中学生海外短期留学派遣者同窓会結成式
	世界の名護人大会
10月29日	おとなのための読み語り
10月30日	『まどう』試写会
10月31日	兵庫教育大学 日渡教授 来訪
	第339回教育委員会臨時会
	第1回総合教育会議
11月1日	第43回やんばる展オープニングセレモニー
	学校人事ヒアリング
11月2日	学校人事ヒアリング
	北部農林高校 訪問
	小中教頭研修会
11月4日	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰
	名護ライオンズクラブ結成55周年記念の会
11月6日	やがじ祭り2016
	【市長代理】 第11回「沖縄男声合唱団・いそべとし記念男声合唱団」合同演奏会及び懇親会
	東江小学校運動会

月 日	活動内容
11月7日	学校人事ヒアリング
11月8日	学校人事ヒアリング
11月9日	学校人事ヒアリング
11月10日	沖縄県民大会名護市選手団団結式及び交流会
11月11日	平成28年度国頭地区市町村教育委員会協議会研修会及び情報交換会
11月12日	ツール・ド・おきなわ一輪車大会
	第28回ツール・ド・おきなわ2016開会式
11月13日	第28回ツール・ド・おきなわ2016閉会式・表彰式・ふれあいパーティー
11月14日	第29回名護・やんばるツーデーマーチ実行委員会
11月15日	沖縄看護大学大学院保健看護学研究科 新城 正紀 教授 来訪
	仲松 源光 氏 死亡叙位伝達式
	国語教育研究会会長・副会長 来訪
11月16日	平成28年度市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック） ～19日
11月20日	文部科学省平成28年度総合的な教師力向上のための調査研究事業
11月21日	平成28年度沖縄県公共図書館連絡協議会研修会
	国頭教育事務所：定期人事異動ヒアリング
11月22日	うみのほし幼稚園 感謝の訪問
	租税教育推進協議会税コンクール表彰式
	北部農林高校定時制課程開設60周年記念行事：記念式典・記念講演・祝賀会
11月24日	国際海洋環境情報センター開所15周年事業報告会・懇談会
11月25日	第273回名護市議会臨時会
11月27日	第34回国頭地区レクリエーション大会
11月28日	国頭地区市町村教育委員会協議会第2回教育長部会
	第340回教育委員会臨時会
	第2回総合教育会議
11月29日	ガチンコ市長塾3期第3回
	ガチンコ市長塾2期第5回
11月30日	第1回名護市教育情報化推進委員会
11月30日	沖縄県教育委員会 来訪

月 日	活動内容
11月30日	北部振興シンポジウム及び激励会
12月1日	第185回名護市議会定例会 議案説明
12月2日	第55回全国国語科教育研究大会
12月3日	第48回国頭地区小学校音楽発表会
12月5日	第185回名護市議会定例会 議案質疑
	名護中学校（科学の甲子園ジュニア大会結果報告） 市長表敬訪問
12月6日	第185回名護市議会定例会 一般質問
12月7日	第185回名護市議会定例会 一般質問
12月8日	ジャパンビバレッジエコロジー 来訪
	第185回名護市議会定例会 一般質問
12月10日	第29回名護・やんばるツーデーマーチ
	宮里 博輝 先生 「秋の叙勲受賞」を祝う会
12月11日	第29回名護・やんばるツーデーマーチ
12月12日	第185回名護市議会定例会 一般質問
12月13日	第185回名護市議会定例会 一般質問
12月14日	名護ひかり学童クラブ 来訪
	第14回国學院大學北海道短期大学部作文・創作文芸コンテスト表彰式
	名護市商工会女性部第40回チャリティーふれあいパーティー
12月15日	学校給食センター職員 訓示
	名護支部区長会忘年会
12月16日	名護市議会慰労会
12月17日	子どもの本研究会
	第2回羽地子ども豊年祭
	チャリティー名護市民劇第30回記念祝賀会
12月18日	CS導入等促進事業：保護者及び地域住民等対象講演会 屋我地ひるぎ学園
12月19日	CS導入等促進事業招聘講師 立石克昭氏 来訪
	校長会意見交換会
	「年末・年始総合警戒」及び「交通安全運動」出発式
12月20日	ガチンコ市長塾4期第1回

月 日	活動内容
12月21日	宮城 浩 氏、宮城 照明 氏、山城 修 氏 高齢者叙勲伝達表彰式
	名護市商工会「子ども夢基金」寄附金贈呈式
	ガチンコ市長塾3期第5回
12月22日	『のぞみの像』文化財指定書交付式
12月26日	「名護市教育の日」協賛団体との意見交換会
12月27日	第277回教育委員会定例会
12月28日	市長・教育長訓示
平成29年 1月4日	市長・教育長訓示
	安全祈願
	新春の集い
1月6日	上原 仁吉 氏 来庁
1月7日	平成29年消防出初式
1月8日	平成29年名護市成人式
1月12日	定例記者会見
	丸金交通運天氏 来庁
	大城 進 氏 来庁
1月14日	林洋子「宮沢賢治ひとり語り」クラムボンの会名護公演・懇親会
1月15日	平成28年度名護市教育の日
1月17日	仲宗根 末廣・カヨ子、吉川安一先生 来庁
	国・県出先機関の長及び関係団体等との北部市町村との新年会
1月18日	びよびよおはなし会（中央図書館）
	名護市市指定研究発表会
1月19日	山川 良勝 氏 来庁
	屋我地ひるぎ学園開学記念 地域クラシックコンサート in 名護市
	B&G指定管理団体 来庁
	第2回教育情報化推進委員会
	名護市スポーツ推進委員新年会
1月20日	名護中学校卓球部 市長表敬訪問
1月21日	北部農林高等学校：レスリング部全国高等学校総合体育大会20回出場表彰並びに2016カデット選手権出場祝賀会

月 日	活動内容
1月21日	第58回NAGOハーフマラソン関係者歓迎会
1月22日	第58回NAGOハーフマラソン
	第37回北部地区小中学生珠算競技大会
1月26日	名護市学力向上推進運営委員会並びに臨時総会
1月27日	沖縄県中小企業家同友会主催 新春講演（諸見里明氏）
1月27日	名護市長主催懇親会（友好都市）
1月28日	なごサイエンスフェスタ2017
	第55回名護さくら祭りオープニングセレモニー・パレード
	名護市友好都市歓迎昼食会
	第33回二見情話大会（審査委員）
	第19回名護ジュニアオーケストラ定期公演
1月29日	名護さくら祭り夜間街頭指導活動
1月30日	北部地域基幹病院整備推進会議名護支部
1月31日	北部副市町村長会との意見交換会
2月2日	第278回教委育委員会定例会
2月3日	第16回沖縄県健康教育研究大会
	平成28年度北部振興会第2回評議員会
	琉球新報社短編小説賞授賞式
2月4日	名桜大学シンポジウム
2月5日	第40回沖縄一周市郡対抗駅伝競走大会【市長代理】
	第20回世界の家庭料理フェア【市長代理】
2月6日	教職員評価システムに係る説明会
	第2回市町村教育委員会教育長連絡協議会及び情報交換会
2月7日	北海道日本ハムファイターズ名護協力会 平成28年度第1回理事会
	教職員評価システム校長面談（最終）
2月8日	教職員評価システム校長面談（最終）
2月9日	教職員評価システム校長面談（最終）
	JB環境ネットワーク会 沖縄シンポジウム
2月10日	教職員評価システム校長面談（最終）

月 日	活動内容
2月11日	第27回名護市文化祭オープニングセレモニー（テープカット）
	国頭地区学力向上実践報告会
2月13日	竹下 和男 氏 食育講演会
2月14日	星 弘道 講演会
2月15日	道徳教育研究発表会
	第43回名護・滝川児童交歓会壮行会
2月17日	第275回名護市議会臨時議会
	教職員内示（一般）
	玉城 本生 氏 来訪
2月18日	沖縄あこがれ先生プロジェクト
2月19日	名護市子ども芸能まつり
2月20日	教職員内示（管理職）
	ガチンコ市長塾4期第3回
	屋我地ひろぎ学園教諭市長表敬
	海外移住者子弟等研修生修了式及び激励会
2月21日	第341回教育委員会臨時会
2月22日	安田 栄三 氏 来訪
2月23日	第3回情報化推進会議
	教職員人事ヒアリング
2月24日	北海道日本ハムファイターズ2017年キャンプ夕食会
2月25日	第35回北部地区吹奏楽祭 第27回北部地区小学校管楽器フェスティバル
2月26日	第19回名護市児童劇団定期公演
2月27日	第342回教育委員会臨時会
3月1日	大北小金管バンド部市長表敬
3月2日	第186回名護市議会定例会 市政方針・議案上程及び議案説明
	第2回北部地域基幹病院整備推進会議名護支部
3月3日	定例記者会見
3月4日	沖縄三育中学校卒業礼拝
3月5日	第3回NAGOURAマラソン大会開会式

月 日	活動内容
3月5日	第24回小学校交流駅伝競走大会
3月6日	東村文化・スポーツ記念館落成式・祝賀会
3月7日	英語遊び表彰
3月8日	第186回名護市議会定例会 一般質問
3月9日	第186回名護市議会定例会 一般質問
3月10日	名護警察署長離任挨拶
	第186回名護市議会定例会 一般質問
	名護中ダンスアライブ全国大会出場報告市長表敬
	ライオンズクラブ第18回姉妹クラブ児童交歓会歓迎夕食会
3月11日	屋我地ひるぎ学園卒業式
	北部地区スポーツ推進委員協議会情報交換会
3月12日	第13回勝山シークワサー花香り祭
	大西区第4回文化芸能祭
3月13日	第186回名護市議会定例会 一般質問
	第7代がじゅまる王子お披露目パーティー
3月14日	第186回名護市議会定例会 一般質問
3月15日	第186回名護市議会定例会 一般質問（追加議案）
	高安 美智子 氏 来訪
3月16日	大宮小学校 卒業式
	第186回名護市議会定例会 議案質疑
3月17日	第186回名護市議会定例会 議案質疑
	屋我地ひるぎ学園職員送別会
3月24日	第186回名護市議会定例会 議案審議
	北部地域における基幹病院の整備を求める北部12市町村住民総決起大会
3月26日	コーラスフェスタin名護・やんばる及びコーラスフェスタ懇親会
3月27日	第43期教育研究員研究成果報告会及び修了式
3月28日	第343回教育委員会臨時会
3月29日	渡具知室長 来訪
	退職者激励会

月 日	活動内容
3月30日	辞令交付式（八幡平市派遣）
	うみのほし幼稚園創立50周年記念感謝のミサ及び竣工式・祝賀会
	ガチンコ市長塾第4期第5回
3月31日	平成28年度退職者辞令交付式（国頭教育事務所）
	退職者辞令交付式（指導主事）
	安和小学校教頭 来訪
	写真集贈呈（市史編さん）
	退職者辞令交付式
	退職者離任式

平成29年度(平成28年度実績)点検評価 内部評価・外部評価一覧

具体的施策名		内部評価	外部評価
1	教育環境の整備と支援の充実	B	B
2	学校教育環境整備の充実	A	A
3	小中一貫教育の推進	B	B
4	学校給食の充実	B	B
5	名護市立教育研究所運営の充実	B	B
6	学力向上推進事業の充実	B	B
7	I C T（情報通信技術）を活用した教育の推進	B	A
8	国際社会に対応できる人材の育成	B	A
9	キャリア教育の充実	A	A
10	幼児教育の充実	B	A
11	教育関係機関等との連携	B	B
12	心豊かな人間性を育む教育の推進	B	B
13	人権教育や平和学習の充実	B	B
14	生徒指導の充実	B	B
15	特別支援教育の充実	A	A
16	文化財の保全及び普及活用	A	A
17	博物館活動の充実	A	B
18	市民の市史づくり	A	A
19	新博物館の建設	B	B
20	市民に開かれた利用しやすい図書館運営	A	A
21	全市民へ公平なサービスの提供	B	B
22	市民会館事業の充実	B	B
23	次世代の芸術文化を担う人材育成の推進	B	B
24	中央公民館の充実	A	A
25	地域公民館の充実	B	B
26	スポーツ活動事業の推進	B	B
27	青少年のスポーツ活動の推進	C	B
28	競技スポーツの推進	B	B
29	社会体育施設の整備	B	B
30	青少年の健全育成事業の充実	B	B
31	家庭教育の支援	B	A
32	地域の教育力の充実	B	A
33	社会教育団体の活性化	B	B

具体的施策名		教育環境の整備と支援の充実						主管課		総務課 学校教育課		第2次名護市教育振興基 本計画での位置づけ		教育方針		I	より良い教育環境の形成					
														個別目標		1	より良い教育環境の整備					
														具体的施策		(1)	教育環境の整備と支援の充実					

目的		教育委員会事務局並びに市立幼稚園、小学校及び中学校の教育環境の整備と支援の充実を図る。																	
----	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 「名護市教育の日」の充実 取組の内容：1月第3日曜日を「名護市教育の日」と定め、式典やシンポジウムを行う。また、1月を「名護市教育月間」と定め、様々な関連行事を開催する。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			「名護市教育の日」が市民へまだ浸透していない。								認知度不足。市民や保護者を巻き込んだ取組が必要。							
			平成 3 0 年度	目標		平成 2 8 年度	目標		取組概要				成果及び反省点					
				目標値	1,000人		目標値	700人	・平成28年1月15日式典及びシンポジウムの開催（参加者557人） 教育功労者個人13人、3団体、児童生徒表彰個人12人、3団体 シンポジウム（読書の魅力を感じよう！伝えよう！） ・教育の日関連事業：3事業				実施値	557人				
	5事業	5事業			3事業													
	成果指標	式典及びシンポジウムの参加者																
		教育の日関連事業の実施数																
	② 学校評議員制度の充実 取組の内容： 地域住民の学校運営への参画を促し、また学校運営について地域へ周知するための学校評議員制度を充実させる。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			全学校に学校評議員会が設置されている。年1回委嘱状の交付式並びに研修会を開催し、講師を招き「学校評議員の役割と目指す方向」という演題で講話、充実を図っている。								学校評議員にその役割を理解してもらいたい、学校評議員制度の充実を図る必要がある。 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令（平成12年4月1日施行） 学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりをより一層推進する観点から、学校に、学校評議員を置くことができるようになった。							
			平成 3 0 年度	目標		平成 2 8 年度	目標		取組概要				成果及び反省点					
				学校評議員制度の更なる充実を図る	目標値		年2回以上	学校評議員制度の更なる充実を図る	目標値	全学校2回	学校評議員委嘱状交付式並びに研修会参加：55人/78人（71％） 学校評議員会の開催：全学校2回達成 学校評議員会への参加率：97％				実施値	全学校2回		
	100%	100%					97%											
	成果指標	学校評議員会の開催状況																
		評議員の学校評議員会への参加率																
		学校評議員の研修会への参加率																
	③ 取組の内容：-----		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			平成 3 0 年度	目標		平成 2 8 年度	目標		取組概要				成果及び反省点					
				目標値			目標値						実施値					
成果指標																		
④ -----		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
		平成 3 0 年度	目標		平成 2 8 年度	目標		取組概要				成果及び反省点						
			目標値			目標値						実施値						
成果指標																		

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			C	B					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	「教育の日」の制定は、大きな意義があり市民の教育力向上に貢献できる。しかし、前年度より更に参加者が減り、反省点で示している通り、市民、保護者への認知度を上げたい。シンポジウムに児童生徒も参加させてもよいのではないか。また、市民を巻き込んだ取組を検討する必要がある、そのため、協賛団体との連絡会の持ち方を検討する必要がある。 評議員の役割として、地域に開かれた学校作りの推進として、明確な視点が見えない。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	教育の日については、式典の参加人数を目標値に設定したことが、学校行事の硬直化に繋がったのではないかと懸念される。何のための式典なのか、市民・保護者への巻き込みというアプローチではないかと懸念される。 学校評議員制度、名護市教育月間、教育の日も、これまでの取組で定着してきているが、さらなる充実のためには、市民や保護者を巻き込んだ具体的な企画の工夫が必要である。 学校評議員制度は制度そのものが形骸化してしまい、実質的には本来の開かれた学校への取組には結びついていないため、制度そのもの見直しが求められる。							

具体的施策名		小中一貫教育の推進						主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		I	より良い教育環境の形成	
												個別目標		1	より良い教育環境の整備			
												具体的施策		(3)	小中一貫教育の推進			

目的		二見以北地域及び屋我地地域の子どもたちにとって、より良い教育環境を提供する。																	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	①「緑風学園」の教育活動の充実 取組の内容： 小規模特任校制度や教育課程特例校（英語科）を導入した特色ある教育活動の実施。		平成27年度現状						現状をもたらした原因										
			再び複式学級に陥らないよう特色ある学校づくりを行うため、平成21年度から教育課程特例校制度や小規模特任校制度を導入した小中一貫教育校の開校に向け、当該事業の取組を開始した。小規模特認校制度等を活用し転入学する児童生徒数は、H24年度1人、H25年度17人、H26年度2人、H27年度4人と推移している。						更なる教育環境の充実を図るため、緑風学園の特色ある教育活動の取組・実績を周知し、小規模特任校制度を活用するなど児童生徒増を図るための周知が必要である。										
			目標				目標				取組概要				成果及び反省点				
	成果指標	児童生徒数		平成30年度	特色ある教育活動を実施し、児童生徒数の増を目指す。		平成28年度	特色ある教育活動を実施し、児童生徒数の増を目指す。		①非常勤講師1人を配置し、小中一貫教育の研究を行う本務教諭の後補充やTT授業を実施した。 ②特色ある教育活動の一つである英語教育の充実を図るため、日本人英語教師1人を配置し、学級担任とALTとの繋ぎを主体的に行い、より充実した英語教育を実施した。 ③中学生を対象に、年3回実施される英検のうち、その検定料を一人年1回全額助成を実施。 児童生徒一人一人に基礎的基本的な知識・技能を身に付けさせるため、TT授業や乗り入れ授業等により個別指導の徹底を行った。また、裁量の時間を活用した補習指導、長期休業中の学び直しを全職員体制で計画的に行った。 英語科の授業では、学級担任とALT、JTE及び中学校英語教師によるTT授業や実技教科における部分的イマージョン教育の実施、小学校から文字指導を行った。 児童生徒一人一人の社会的・職業的な自立を目指し、キャリア教育を学校教育全体を通じて体系的に実施するとともに、自然体験学習や稲作等で地域人材等の活用を推進した。						開校から4年を経過したが、教職員の異動等もあり、今一度、開校当時の理念を教職員間で共通理解する必要が生じている。			
		168人																159人	
		1人																1人	
		1人																1人	
		+8																±0	
		50%																45%	
	100%		100%		実施値		159人												
非常勤講師の配置		1人																	
日本人英語教師（JTE）の配置		1人																	
沖縄県到達度調査（8年生5教科総合県比較）		+2.1																	
英検合格率（3級以上）		47%																	
職場体験・ジョブシャドウイング参加率		100%																	
主な取組	②「屋我地ひるぎ学園」の教育活動の充実 取組の内容： 小規模特任校制度や教育課程特例校（英語科）を導入した特色ある教育活動の実施。		平成27年度現状						現状をもたらした原因										
			屋我地小中学校に通う児童生徒数が減少傾向にある。 2年と3年において複式学級となっている。						屋我地地域における過疎化及び少子化により児童生徒が減少したことによる。										
			目標				目標				取組概要				成果及び反省点				
	成果指標	児童生徒数		平成30年度	・児童生徒数の増 ・複式学級の解消		平成28年度	特色ある教育活動を実施し、児童生徒数の増を目指す。		①児童生徒一人一人に基礎的基本的な知識・技能を身に付けさせるため、TT授業を中心に個に応じた指導の徹底を行った。また、裁量の時間を活用した補習指導、長期休業中の学び直しを全職員体制で計画的に行った。 ②特色ある教育活動の一つである英語教育の充実を図るため、日本人英語教師1人を配置し、学級担任とALTとの繋ぎを主体的に行い、より充実した英語教育を実施した。 ③中学生を対象に、年3回実施される英検のうち、その検定料を一人年1回全額助成を実施。 ④英語科の授業では、学級担任とALT、JTE及び中学校英語教師によるTT授業を実施。						非常勤の乗り入れ授業が少なかった。			
		沖縄県到達度調査（8年生5教科総合県比較）																	
		英検合格率（3級以上）																50%	
		英検ジュニア ブロンズ正答率（5年生）																82%	
		英検ジュニア シルバー正答率（6年生）																78%	
	③	平成27年度現状						現状をもたらした原因											
目標				目標				取組概要				成果及び反省点							
成果指標			平成30年度	目標値		平成28年度	目標値								実施値				
	—																—		

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	「緑風学園」「屋我地ひるぎ学園」の特色ある教育活動を実践しており、目的は十分に評価できる。 開校当初の理念である小中教職員間の共通理解が最も重要である。5年間の実績を踏まえ、教職員に対して、継続した理念の周知徹底を図る必要がある。 緑風学園で得た小中教職員間の共通理解を「ひるぎ学園」でも徹底して周知実践する必要がある。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	緑風学園の特色ある教育活動の成果が見える。今後も開校時の理念を確たるものにし、よりよい教育活動の展開を望む。 屋我地ひるぎ学園については、理念・目標等を明確にし教職員が一丸となつての推進を望む。 生徒数の増加は、様々な要因があり一朝一夕には増加するものでないので、開学当初の理念を地域全体で共有し、継続していただきたい。							

具体的施策名		学校給食の充実				主管課		総務課、 (プロジェクトチーム)		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		I	より良い教育環境の形成		
												個別目標		1	より良い教育環境の整備		
												具体的施策		(4)	学校給食の充実		

目的		子どもたちにより安全・安心な学校給食の提供を行うため、その支援と充実を図る。													
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 学校給食施設の再整備 取組の内容：「名護市立学校給食施設再整備基本計画（平成21年3月策定）」に基づき、老朽化した学校給食施設（5か所）を2か所に再編する。 また、新しい学校給食施設においてアレルギー対応の対象食材、除去食調理体制の検討と調理及び配送の民間委託の検討を行う。		平成27年度現状						現状をもたらした原因								
			市内にある5つの学校給食施設は全て老朽化が進んでおり、かつ、学校給食衛生管理基準を満たしていない。平成21年に「名護市学校給食施設再整備基本計画」を策定し、建設に向けて取組を進めているが、計画より遅れている。						施設の老朽化及び備品の劣化により、学校給食衛生管理基準を満たせる機能を備えきれていない。予算確保の課題があり、その課題解消のための検討を行っているため、当初の計画より遅れている。								
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点				
				（仮称）第一学校給食センター完成。アレルギー対応調理室の設置。			・名護市立学校給食施設再整備基本計画に基づく、新学校給食施設の建設		・老朽化した学校給食施設の耐力度調査（取り壊した場合、補助事業対象となる）の実施 ・第一学校給食センターの建設予定地の造成設計の実施 ・第一学校給食センターの基本設計の実施 ・第一学校給食センター建設予定地の土質調査の実施 ・第二学校給食センター建設候補地選定委員会の開催及び候補地の決定				学期中の調査は衛生・安全の面から好ましくないため、夏休み期間中に耐力度調査を実施したことから、補助事業の要件となる建物の評価に遅れが生じた。それにより造成設計・基本設計・土質調査を年度内に完了できず、翌年度へ繰り越しとなる。 第二学校給食センター候補地の再調査に伴い、選定委員会の開催及び候補地の決定については、翌年度へ繰り越しとなる。				
	目標値			目標値			0施設 — 1カ所 —		実施値		0施設 — 0カ所 —						
	成果指標	新学校給食センターの建設件数 アレルギー対応調理室の設置 第二センターの候補地の決定															
	② 学校給食における安全な食材の使用及び地産地消の推進 取組の内容：栄養士、栄養教諭を中心に学校全体で食育に取り組むとともに、農産物をはじめとした地元の食材を使った給食を提供できるよう、関係機関と連携を図る。		平成27年度現状						現状をもたらした原因								
			平成27年度 名護市産農産物利用率 21％ 地域地産地消連絡協議会3回開催						積極的に名護市産農産物を取り入れているが、不足する分については、県内産、国内産など近い地域の食材を選定して納品している。								
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点				
				名護市産農産物の割合の増加を目指す。			名護市産農産物の割合の増加を目指す。		市内幼小中学校の献立表の作成 食育に関する授業の実施 学校給食納入業者登録制度（登録業者：35業者、内名護市内業者：23業者） 農作物、農産加工品等に関する情報交換等の実施				名護市産の農作物は季節や品種によって確保する量にばらつきがあるため、使用率が横ばいとなっている。				
	目標値			目標値			23％ — —		実施値		22.6％ — —						
	成果指標	名護市産農産物の割合															
	③ 名護市立学校給食費補助 取組の内容：名護市立の小・中学校及び中学校に在籍している児童生徒が3人以上いて過去2年度において、給食費の未納がない保護者を対象に、3人目以降の在籍児童等の学校給食費保護者負担分を補助金交付する。		平成27年度現状						現状をもたらした原因								
			3人目補助の交付 96％						過去2年間に未納がないことが給食費補助の条件であるため、補助制度の活用が徴収率の向上にもつながっている。								
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点				
				該当世帯の学校給食費未納をなくし、すべての対象者に補助金を交付する。			該当世帯の学校給食費未納を減らし、補助金交付率の向上を目指す。		3人目以降の在籍児童等に係る学校給食費補助金交付をおこなった（469人） 過去2年間に未納がある世帯については、納付相談等を行い、計画的に支払うよう指導を行った。				過去2年間に未納がないことが給食費補助の条件であるため、補助制度の活用が徴収率の向上にもつながっている。				
目標値		目標値		96％ — —			実施値		95.5％ — —								
成果指標	交付率																
④ 学校給食費徴収率の向上 取組の内容：学校給食費の充実を図るために徴収体制の強化をはかる。		平成27年度現状						現状をもたらした原因									
		平成27年度徴収率 94％						保護者への給食費徴収に関する周知を徹底し、徴収率は徐々に向上している。 収納業務がシステム化されておらず、事務手続きに時間がかかっている。									
		平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点					
			納付相談等を実施し、学校給食費徴収率の向上を図る。			納付相談等を実施し、学校給食費徴収率の向上を図る。		保護者への口座振込手続き 未納者への督促・勧告 未納者への納付相談及び指導 未納者への誓約書締結 未納者への戸別訪問 未納者への法的措置				年々徐々に徴収率を増加させているが、収納業務のシステム化がされておらず、事務手続きでかなりの時間がかかる。					
目標値			目標値			94％ — —		実施値		95.8％ — —							
成果指標	徴収率																

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			C	B	B	B			
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	第一、第二給食センターの完成に向けた取組は評価できるが、一日も早い完成を期待する。 給食費徴収率も年々向上しているので、今後も粘り強く続けてほしい。 これからの食の安全性を考えると、やはり地産地消は重要な役割だと考える。農産物の市内、県内、国内産の確保は厳しい面もあると思うが、加工品においても安全な食品確保に努めてほしい。 目標値を上回っているが、未納者への督促・催告の強化してほしい。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B	A	B			
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	全体として目標値を上回っており、取り組みは評価できる。 給食費の収納システムについては経年的課題であるので、業務効率化のためにも対応が望まれる。 第一学校給食センター建設が遅れているが、衛生的で安全・安心の施設が、今後計画通り着実に実施できるよう力を尽くしていただきたい。							

具体的施策名		名護市立教育研究所運営の充実						主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		I	より良い教育環境の形成	
												個別目標		1	より良い教育環境の整備			
												具体的施策		(5)	名護市立教育研究所運営の充実			

目的		子どもたちが安全・安心に学校生活送れるよう、よりよい教育環境の整備に向けた取り組みの充実 教育関係職員の研修及び教育に関する研究機関として、本市の現状に即した調査研究事業、教職員研究事業、教育相談事業、普及事業等を効果的に推進し、本市教育の学校教育情報の蓄積と発信に寄与する。																	
----	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 長期教育研究員研修の充実 取組の内容： 直面している課題(小中の連続性・つなぎ、小中一貫教育校)を取り上げ、関係機関との連携・協力の下、教育活動の推進。及び研究員個々の教師力の向上を図る。		平成27年度現状						現状をもたらした原因									
			屋我地ひるぎ学園開校に向けた教育課程編成に係る研究を前期(4月～9月末日)屋我地小学校、屋我地中学校から各1人の教諭が、領域「特別活動、総合的な学習の時間」の編成を行い、ひるぎ学園に開校に寄与した。						二見以北地域及び屋我地地域において、過疎化・児童生徒の減少により複式学級が生じた。その課題解消・教育環境の改善を図るため小中一貫教育を推進するにあたり、平成26年度より屋我地ひるぎ学園の教育課程編成に係る研究を行っている。									
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		目標		研究員研修充実に向けた関係機関との連携		取組概要		成果及び反省点	
			研究員研修充実に向けた関係機関との連携				研究員研修充実に向けた関係機関との連携				〇屋我地ひるぎ学園開校に向けの理科と「特別な教科 道徳」の教育課程編成の研究 〇研究員2人を受け入れ、教育課程編成の研究 〇研究員個々の教師力向上に向けた研修の実施(学校教育課が主催する現職教員研修に参加)				研究員個々の研修意欲と屋我地小、屋我地中との連携が功を奏し研究成果をまとめることができた。			
	成果指標	研究員研修充実に向けた関係機関との連携		平成30年度	目標値	3機関		平成28年度	目標値	3機関		実施値	3機関					
		研究員受入数				年2人				年2人								
	② 適応指導教室の充実 取組の内容： 個々の児童生徒に適切な体験活動や学習活動の提供と支援の充実を図るとともに、保護者、現籍校、関係機関との連携を充実させ、学校復帰、進路指導の充実を図る。		平成27年度現状						現状をもたらした原因									
			11人の児童生徒が入所、現籍校と連携し学校復帰に向けた取り組みを中心に、体験活動、学習指導等を実施し、5人の生徒が上級の学校へ進学できたが、現籍校への学校復帰は完全にはできなかった。						児童生徒個々が不登校に至った要因が複雑で完全な学校復帰は難しく、学校、家庭、関係機関を児童生徒個々のニーズに対応できなかった。									
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		目標		適応指導教室からの学校復帰及び中学校3年生進路(就職)の実現		取組概要		成果及び反省点	
			適応指導教室からの学校復帰及び中学校3年生進路(就職)の実現				適応指導教室からの学校復帰及び中学校3年生進路(就職)の実現				〇12人の児童生徒が入所通級し、3名が学校復帰できた。 〇体験活動の実施(カヌー体験、スポーツ交流会、渡嘉敷島自然体験等)の実施 〇学校復帰に向けた現籍校との連携 〇進路実現に向けた相談(中学校3年生4人中4人の生徒が高校へ進学:100%)				4人の生徒が高校へ進学できた。反省として児童生徒個々の評価のあり方			
	成果指標	適応指導教室からの学校復帰		平成30年度	目標値	30%		平成28年度	目標値	30%		実施値	25%					
		中学校3年生進路(就職)の実現率				100%				100%			100%					
	③ 教育相談室の充実 取組の内容： 児童生徒をはじめ、保護者及び教員の教育上の悩みについて積極的に相談に応じ、関係機関と連携をし、援助などの充実を図る。		平成27年度現状						現状をもたらした原因									
来所相談、電話相談、訪問相談の件数が200件余あり、教育上の悩み等の相談に大きく寄与している。また、適応指導教室との連携で上級学校への進路の実現ができた生徒もいる。						平成4年度より教育相談員を配置。												
目標			平成30年度		目標		平成28年度		目標		関係機関と連携し、保護者等の相談に対する援助の充実を図る。		取組概要		成果及び反省点			
関係機関と連携し、保護者等の相談に対する援助の充実を図る。					関係機関と連携し、保護者等の相談に対する援助の充実を図る。				(相談内容とその援助内容) ・不登校についての相談や対応について:28件 主に学校、適応指導教室あけみお学級と連携し、その問題の解決にあたった。 ・いじめについて:13件 嫌なことを言われる。仲間はずれにされる。喧嘩になってしまい気まずくなって学校へ行けない等の相談。学校とつなぎ話し合いを持ったり、本人を勇気付けたりして解決に導いた。 ・学業について:15件 学習の遅れや学習についていけない等の相談。休みがちの児童については適応指導教室等へのつなぎを行った。 ・登校しぶり・学校への不満について::39件 ・その他:20件 発達の遅れ、しつけ等の相談				来所相談、電話相談:115件、訪問相談:7件合計122件の相談の実施、関係機関へのつなぎと保護者、学校等の援助・支援が充実した。					
成果指標	教育相談業務において支援に結びついた割合		平成30年度	目標値	100%		平成28年度	目標値	100%		実施値	100%(122件の相談)						

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B	A				
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
上記評価とした理由又は特記すべき事項	目的の「より良い教育現場に向けた取組の充実」やあけみお学級、教育相談教室の充実が評価できる。 適応指導教室については、不登校生徒の100%進路実現はとても素晴らしいが、進学後の様子も可能なら追加報告してほしい。また、これからは、よりもっと緻密な関係機関との行動連携が臨まれる。								

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B	B				
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
上記評価とした理由又は特記すべき事項	研究所、それぞれの教室とも目標値は達成されているので評価できる。 ただ、指導教室・相談室ともに必要としている子ども及び家庭はまだ数多く、教育相談に対する支援を増やす必要がある。 長期研究員研修は学校現場とどう連携した研究であるのかも重要である。目標や取組概要にその項目もつけてはどうか。								

具体的施策名				学力向上推進事業の充実				主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		I		より良い教育環境の形成		
														個別目標		2		確かな学力を身に付けさせる教育の推進		
														具体的施策		(1)		学力向上推進事業の充実		
目的																				
児童生徒に「生きる力」を育み、確かな学力を身に付けさせるため、学力向上に向けた取り組みの充実を図る。																				
主な取組	① 学力向上推進委員会の充実				平成27年度現状								現状をもたらした原因							
	取組の内容: 学校・家庭・地域ぐるみで学力向上に取り組むために、基本的生活習慣や学習規律について、幼小中共通実践事項を掲げ、学校・家庭・地域が連携した取組を行う。				保幼小中の連携は進んでいるが、家庭・地域の取組の進捗が緩やかである。								保護者や地域の生活習慣づくりに向けた意識高揚には、地域ぐるみでの活動が必要である。							
	成果指標				平成30年度				平成28年度				取組概要				成果及び反省点			
					目標				目標								台風の影響での中止もあり、目標値に届かなかった。予備日の設定が必要。			
					家庭・地域での生活習慣形成への意識を高める。				地域教育懇談会への参加者増を目指す。				地域教育懇談会への参加者1,190人 総会2回、運営委員会2回、部会10回(3部会で)				実施値			
					目標値				1,300人				目標値				1,000人			

具体的施策名		ICT(情報通信技術)を活用した教育の推進						主管課	学校教育課	第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針	I	より良い教育環境の形成		
											個別目標	2	確かな学力を身に付けさせる教育の推進			
											具体的施策	(2)	ICT(情報通信技術)を活用した教育の推進			

目的		ICT(情報通信技術)を活用した効果的・効率的な「分かる授業」実践を行うと共に、教育の情報化を図り教師の負担軽減及び教師や児童生徒のICT活用能力を高め学力向上を図る。											
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① ICT教育環境の整備 取組の内容: ICT機器を活用した効果的・効率的な授業の実践により児童生徒の学習意欲、ひいては学力向上は図るため、各学校の実態に応じたICT機器の整備、教育の情報化を進める。		平成27年度現状						現状をもたらした原因						
			・小学校教科書改訂に伴うデジタル教科書の購入 ・緑風学園及び屋我地小・中、大宮中へのICT機器の整備 ・小学校及び中学校における教育の情報化の推進を図るための年次的な計画が策定されていない。						・21世紀を生きる子どもたちに求められる力の一つに「情報活用能力」が挙げられる。情報通信技術を効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実践のため、ICT環境整備が求められている。 ・計画の策定については、策定を行うに当たっての組織の検討などに時間を要してる。						
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要		成果及び反省点		
	全22校校に設置		平成28年度		4校に設置		平成27年度小学校使用教科用図書(教科書)の改訂に伴い、市内13小学校の4～6年生を対象とした主要教科①国語②算数③理科④社会⑤地図のデジタル教科書を購入・整備を目的とした学習環境の整備。 緑風学園 タブレット端末21台、電子黒板2台、一部無線LANの整備 屋我地小 タブレット端末20台、電子黒板2台、一部無線LANの整備 屋我地中 タブレット端末21台、電子黒板2台、一部無線LANの整備 大宮中 書画カメラ4台、ユニット型電子黒板4台を整備		小中一貫校に配置できた						
	成果指標	実物投影、プロジェクターの設置		平成30年度	目標値	21校/21校		平成28年度	目標値	21校/21校		実施値	4校/21校		
		無線LAN、タブレットの整備				4校/21校									
		名護市教育情報化推進計画(仮)の策定				—									
	② ICTを活用した授業の充実 取組の内容: 市情報研修会でICTを活用した授業研究などを行い、教師及び児童生徒のICT活用能力を高め学力向上を図ります。		平成27年度現状						現状をもたらした原因						
			・タブレットPC,電子黒板、デジタル教科書を利用しての授業力向上を図るため年に3回のICTを利用した公開授業を実施。						授業での活用力向上を目指して研修会を実施している。						
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要		成果及び反省点		
	成果指標	デジタル教科書の活用率(小学校)		平成30年度	目標値	100%		平成28年度	目標値	70%		情報研修会1回 内容 ホームページの作成、タブレット、電子黒板の利用。情報モラルと学校訪問の際のデジタル教科書活用状況の確認。	実施値	デジタル教科書及びICT機器の活用に関する検証。	
		デジタル教科書の活用率(中学校)				70%				87.90%					
						78.00%				—					
	③ 取組の内容:		平成27年度現状						現状をもたらした原因						
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要		成果及び反省点		
成果指標			平成30年度	目標値			平成28年度	目標値				実施値			
④ 取組の内容:		平成27年度現状						現状をもたらした原因							
		目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要		成果及び反省点			
成果指標			平成30年度	目標値			平成28年度	目標値				実施値			

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
上記評価とした理由又は特記すべき事項	実物投影機を全教室に導入できたのは良かった。ICT機器の配置は充実してきたので、これを日々の教育実践で活用し、学力向上に繋がることを期待する。さらなる整備、活用に努めてほしい。教師の活用について充分でないと感じられる。そのため、児童生徒の活用能力の向上に繋がっていない。ICT教育(特にタブレット)の長時間使用による身体への影響も気になるので調査してほしい。								

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A						
上記評価とした理由又は特記すべき事項	タブレットの配置、デジタル教科書の活用は目標値をクリアしている点は評価できる。活用の度合いもあいまいなので、実際のところの活用実態も、学校間または教員間で開きがないか確認していただきたい。今後は一貫校以外の学校での推進を期待したい。今後は、導入した機器を有効に使うための支援も求められる。								

具体的施策名		国際社会に対応できる人材の育成						主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針 I 個別目標 2 確かな学力を身に付けさせる教育の推進 具体的施策 (3) 国際社会に対応できる人材の育成					
目的		グローバル化が進展する現代において、学校教育においても新たな英語教育の在り方が求められている。英語学習や異文化理解をとおり幅広い視野を持ち、異なる価値観を理解し互いに尊重し合える人材育成を目指す。																	
主な取組	① 中学生海外短期留学事業 取組の内容： 市内全中学生を対象に募集を行い、選考試験により概ね12人を選考し、夏休み3週間程度をハワイ州ハワイ郡ヒロ及びホノルルへ派遣している。		平成27年度現状						現状をもたらした原因										
			派遣者の選考試験(筆記試験、面接)を1日で行っていたが、日程が厳しく面接に十分な時間が取れなかった。						応募者が増になったことや、学校での授業時数確保に配慮し、選考試験を1日で実施したため。										
			平成30年度		目標		平成28年度		目標		取組概要		成果及び反省点						
	成果指標	本事業への応募者数		目標値		40人 12人 100%		平成30年度		目標値		40人 12人 100%		35人の応募者から選考試験を実施し、夏休み8／2～8／23の約3週間名護市の姉妹都市ハワイ郡ヒロ及びホノルルへ13人を派遣した。現地では、県人会との交流会、語学研修、週末のホームステイ、学校訪問(2校)、ハーリー大会への参加など、体験活動等を実施した。また、派遣者に対しては事前研修会8回、事後研修会4回を実施。帰国後は、帰国報告会と報告書による報告を行った、		他の自治体では実施していない研修内容が多く事前研修や現地で研修が充実してきた。 実施値		35	
		派遣者数																13人	
		研修内容について良いと答えた生徒(率)																100%	
	② 小・中学校英語支援員の充実 取組の内容： 各小中学校へ支援員を派遣し、小学校の外国語活動や中学校の英語の授業における指導補助、教材作成、各種コンテスト等への指導を行う。		平成27年度現状						現状をもたらした原因										
			ALT9人を市内小・中学校へ配置。小中一貫教育校は常勤で1人配置。中学校への配置が十分でない。						小学校に100％配置していることや小中一貫教育校へ(緑風・ひるぎ)へ常勤として配置しているため。										
			平成30年度		目標		平成28年度		目標		取組概要		成果及び反省点						
	成果指標	英語支援員(ALT)の派遣者数		目標値		16人 13校 8校		平成30年度		目標値		10人 13校 —		・市内小中学校へ小中英語支援員(ALT)10人を配置し、外国語活動、英語の授業、名護市短期留学研修会、各種コンテスト等の支援を行った。 ・月1回のALTミーティングを実施。 ・小中英語支援員・英語教育担当者研修会全6回を実施。 ・海外短期留学派遣事業事前・事後研修会への参加。		各種コンテストへの対応について、ALTを効果的に活用している。しかし、日頃の授業におけるALTの活用については課題がある。 実施値		10人	
ALTが児童の学習意欲向上に効果があると答えた小学校数		13校																	
ALTが生徒の学習意欲向上、授業づくりに効果があると答えた中学校数		8校																	
③ 英語検定料一部補助 取組の内容： 小中一貫教育校(緑風学園、屋我地ひるぎ学園)を除く6校の全中学生を対象に英検の一部補助(年に1度受験級の半額補助)を実施。		平成27年度現状						現状をもたらした原因											
		学校の在籍数に応じて同じ割合で予算を分配したが、学校間で活用率に開きがある。						地域から検定料に対する補助金交付のある学校については活用率が低い。また、学校間で活用に対する意識の違いや取組の差が伺える。											
		平成30年度		目標		平成28年度		目標		取組概要		成果及び反省点							
成果指標	英検料金補助金活用率		目標値		90% 60%		平成30年度		目標値		75% 50%		4～6月助成金の申請・交付 6月第1回英語検定実施、10月第2回英語検定実施、1月第3回英語検定実施 2月実績報告、補助金交付決定額の通知		昨年度に比べ活用率は向上しているものの十分ではない。今後は学校訪問の際など定期的に担当者への声かけを行う。 実施値		76%		
	英検合格率(補助金活用分)																44%		
④ 小・中学校英語体験学習 取組の内容： 市内全中学生を対象に募集を行い、小中それぞれ概ね36人を決定し、さまざまな英語活動や外国人との交流を行う。英語によるコミュニケーションへの積極的な態度と英語に対する興味・関心を高める。		平成27年度現状						現状をもたらした原因											
		小学生については応募者が多かった。学校間の参加者の偏りがあったため、対象者により公平であるために募集方法の検討が必要。 中学生については募集人員に対して応募者が少なかった。						募集方法が応募先着となっていたため、学校または学級担任の対応の差により保護者への周知が遅れたため。 中学校は部活動の大会との重なり、中3にとっては受験との関わりから応募者数が少なかったと考えられる。											
		平成30年度		目標		平成28年度		目標		取組概要		成果及び反省点							
成果指標	本事業への参加者数(小学校)		目標値		36人 36人		平成30年度		目標値		36人 30人		・小学生：平成29年2月18日(土)10:00～16:00 名護青少年の家にて実施 ・中学生：平成29年2月4日(土)10:00～16:00 名護青少年の家にて実施 英語によるさまざまな活動(ゲーム、劇鑑賞、寸劇作り等をとおして、外国人と交流する。)		小学生の応募者が200人を超えたため、当日の参加人員を増やしたり、中学校の実施日に10人の6年生を受け付けた。 実施値		50人		
	本事業への参加者数(中学校)																39人		
⑤ 英検ジュニアの推進 取組の内容： 小学校において外国語活動が実施されている5、6年生を対象に5年生ブロンズテスト、6年生シルバーテストを2月に実施している。児童の英語学習に対する興味・関心を高め、中学校英語への円滑な接続を図ると共に、客観的な評価を行うことにより指導の工夫改善に資する。		平成27年度現状						現状をもたらした原因											
		テスト結果、分析がその後の授業改善に活かされているか点検することができていない。						学校訪問、授業参観が十分でないため。											
		平成30年度		目標		平成28年度		目標		取組概要		成果及び反省点							
成果指標	ブロンズテスト名護市正答率		目標値		85% 75%		平成30年度		目標値		80% 70%		H29、2月担当者を対象に説明会の実施 2月1日～2月10日 テスト実施 H28、3月 各学校へ結果通知		ブロンズ、シルバーとも目標を達成した教師間の差はあるが、授業改善が少しずつすすんでいると考える。 実施値		80%		
	シルバーテスト名護市正答率																73%		
内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦										
			A	B	B	B	B												
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B																
上記評価とした理由又は特記すべき事項	短期留学事業は大きな成果があるので、現在の12名から20名程度まで増やして実施してはどうか。 短期留学へ参加した生徒は帰国後の報告会や報告書だけでなく、各学校のリーダーとして活動できる場があると、体験してきたことが活かせるのではないかと。 英語教科化へ向け、ALTをもっと活用すべきである。英検料補助費は100％達成してほしい。 検定料の補助、英語教科化、小学校から中学校等の英語の「つなぎ」を考慮してほしい。 小学校の体験活動は有効と思われる。もっと増やす必要がある。																		
外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦										
			A	A	B	A	B												
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A																
上記評価とした理由又は特記すべき事項	国際化への対応もそれぞれの事業で目標通り事業が実施されていることは評価できる。 英語教育に係る事業が充実しているが、取組については、学校間に差があるのでその指導にも配慮していただきたい。																		

具体的施策名		キャリア教育の充実				主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		I	より良い教育環境の形成			
												個別目標		2	確かな学力を身に付けさせる教育の推進			
												具体的施策		(4)	キャリア教育の充実			

目的		子ども達が「自己有用感」を伴った「自己肯定感」を育み、将来、社会の中で自分の役割を果たし、自ら自分らしい生き方を実現するための力を付けさせる教育活動の展開。																	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① キャリア教育の充実 ----- 取組の内容： キャリア教育を総合的（学校・家庭・地域・企業・職能団・NPO等との連携）に推進するために研修会を開催する。		平成27年度現状										現状をもたらした原因							
			キャリア教育研修会（地域連携の研究会）の実施										県の補助事業「グッジョブ連携協議会」が推進していた「地域連携の研究会」を継続させるべく、学校教育課のキャリア教育研修会の中に取り込んだ。							
			目 標				平成28年度	目 標				取組概要				成果及び反省点				
			横軸（学校・企業・行政）、縦軸（小・中・高・大）が連携して発達段階に応じた取組の構造化を図る					横軸（学校・企業・行政）、縦軸（小・中・高・大）が連携して発達段階に応じた取組の構造化を図る				キャリア教育研修会（地域連携の研究会）参加者 幼稚園教諭、小・中キャリア教育担当、市内3高校進路担当、名城大学准教授・学生課、沖縄県中小企業家同友会北部支部長、地域若者サポートステーションなご、企業、商工観光課、国頭教育事務所、学校教育課。1回目42名、2回目35名				当初の年間計画にはなかったが、開催した結果、参加者から「意義のある会なので継続して欲しい」という声が多数あった				
			目 標 値		2回			目 標 値		2回										
	成果指標	年2回の研修会の実施		目 標 値		2回		目 標 値		2回		キャリア教育研修会（地域連携の研究会）参加者 幼稚園教諭、小・中キャリア教育担当、市内3高校進路担当、名城大学准教授・学生課、沖縄県中小企業家同友会北部支部長、地域若者サポートステーションなご、企業、商工観光課、国頭教育事務所、学校教育課。1回目42名、2回目35名				実施値	2回			
	② 産学官連携によるキャリア教育の支援 ----- 取組の内容： 中学校職場体験、小学校ジョブシャドウイングの実施をグッジョブ連携協議会（産業部・商工観光課・市内企業）と連携して行った。 博物館や特定非営利活動法人NDA等と連携して地域教育資源を活用した授業を展開		平成27年度現状										現状をもたらした原因							
			キャリア教育コーディネーターを2人配置し、市内全小学校でジョブシャドウイング、中学校で職場体験のコーディネートができた。										県補助事業「地域型就業意識向上支援事業」が終了したため「グッジョブ連携協議会」の取組を学校教育課にキャリア教育コーディネーターを設置し継続、産学官の連携を強化するため							
			平成30年度	目 標				平成28年度	目 標				取組概要				成果及び反省点			
				産学官連携のキャリア教育の充実を図る					産学官連携のキャリア教育の充実を図る				・職場体験の実施（全中学校で実施・計715人） ・ジョブシャドウイングの実施（全小学校で実施・計638人） ・ジョブシャドウイング及び職場体験に係る事前学習（職業人講話。マナー等）の支援				職場体験とジョブシャドウイングを産学官連携で行うことができた。地域教育資源を活用した授業をもっと拡大させる。			
				目 標 値		13校			目 標 値		13校									
						8校					8校									
	成果指標	小学校ジョブシャドウイングの実施校		目 標 値		13校		目 標 値		8校		・職場体験の実施（全中学校で実施・計715人） ・ジョブシャドウイングの実施（全小学校で実施・計638人） ・ジョブシャドウイング及び職場体験に係る事前学習（職業人講話。マナー等）の支援				実施値	13校			
		グッジョブ連携協議会と連携した職場体験実施校															8校			
③ -----		平成27年度現状										現状をもたらした原因								
		平成30年度	目 標				平成28年度	目 標				取組概要				成果及び反省点				
			目 標 値					目 標 値												
成果指標			目 標 値				目 標 値								実施値					
④ ----- 取組の内容：		平成27年度現状										現状をもたらした原因								
		平成30年度	目 標				平成28年度	目 標				取組概要				成果及び反省点				
			目 標 値					目 標 値												
成果指標			目 標 値				目 標 値								実施値					

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	A					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	職場体験の実施をもって、キャリア教育を行ったものとしてみなすことなく、その後の進路選択に繋がって行くと良い。 メンター側の意識をどう高めるか。重要な役割であり、キャリア教育の充実に期待する。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	A					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	「地域連携の研究会」を実施できた意義は大きい。指導者の意識向上・連携を図ることにより、児童生徒の指導に活きる。 仕組みとして定着してきた感があるので、評価できる一方で、学校現場やコーディネーターにも慣れが出てきて、本来の目的にかなっているか点検が望まれる。そして新たな取り組みにもチャレンジしてもらいたい。							

具体的施策名		幼児教育の充実						主管課		学校教育課、 (プロジェクトチーム)		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		I	より良い教育環境の形成					
												個別目標		2	確かな学力を身に付けさせる教育の推進							
												具体的施策		(5)	幼児教育の充実							

目的		現在の社会情勢や本市の幼稚園教育の現状と課題を踏まえ、市立幼稚園における幼児教育及び子育て支援の充実を図る。																	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主 な 取 組	① 幼稚園指導主事の配置 ----- 取組の内容： 幼稚園指導主事1人を配置し、計画的な研修の実施、園内研修や研究保育、10年経験者研修等における指導助言により、幼稚園教諭の資質向上を図る。また、保幼小連携体制の構築や接続期カリキュラムを活用することで、幼児期における学びの基礎力を育むとともに、小学校への円滑な移行を図る。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			学びの基礎力育成に向けて、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成した。それを活用した保育や教育の充実を図り、保幼小合同研修会や交流活動等に取り組んだ。								平成27年4月1日時点で、公立幼稚園への就園率が44.6%となっている。公立幼稚園以外の就学前施設から小学校へ入学する児童が増加していることから、小学校への円滑な接続及び「小1プロブレム」の解消を図るため、保幼小の積極的な連携が求められている。							
			平成 3 0 年 度	目標		平成 2 8 年 度	目標		取組概要				成果及び反省点					
				研修内容の充実			研修内容の充実		研修会の実施 ・教頭・教諭研修会（年6回） ・園長・教頭・教諭研修会（年3回） ・保幼小合同研修会（年3回） 指導助言 ・園内研修（全12園） ・10年経験者研修（対象者3人）				小学校と就学前施設間において、情報共有及び連携が図られるようになった。					
	成果指標	教頭・教諭研修会の開催		目標値	6回		目標値	6回		実施値				6回				
		園長・教頭・教諭研修会の開催			3回			3回										
		保幼小連携協議会の開催			—			3回										
	② 幼児教育環境の充実 ----- 取組の内容： 「名護市立幼稚園の今後の在り方検討懇話会」の提言を踏まえた基本方針に基づき、望ましい幼児教育の実現に向けた取組の実施。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			「名護市立幼稚園の今後の在り方検討懇話会」の提言を踏まえ方針の策定に向けて取り組んでいる。								・名護市立幼稚園においては主に5歳児の教育・保育を行っている。 ・園児数が10人以下となっている園が6園ある（方針策定時） ・5歳児の約半数が公立幼稚園以外の就学前施設に通っている。							
			平成 3 0 年 度	目標		平成 2 8 年 度	目標		取組概要				成果及び反省点					
				方針に基づいた望ましい幼児教育環境の実現			「名護市立幼稚園の今後の在り方について（方針）」の実現		・平成27年度に策定した「名護市立幼稚園今後の在り方について（方針）」の実現に向け、「複数年教育・保育」「適正規模での教育」について関係者や地元・保護者と協議をおこなった。 ・1学級10人以下の園については、近隣の保育所等で受け入れてもらい集団教育の実施に取り組んだ。近隣に就学前施設がない園については、4歳児も受け入れる混合保育の実施を検討した。 ・休園した園舎については、学童施設として活用する等有効活用に取り組んだ。 ・1学級35人以下の定員を30人とする規則改正を行った。				平成27年度に策定した方針の実現に向け検討を行った結果、平成29年度からの複数年保育・教育や1学級30人以下定員が可能となった。小規模園については、引き続き地元・保護者と協議を重ねる必要がある。					
成果指標	方針の策定		目標値	—		目標値	策定		実施値				策定					
	公立幼稚園における複数年教育・保育の実施園			1園			0園											
	適正規模（1学級20人～30人）での教育・保育の実施率			100%			—											
③ ----- 取組の内容：		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
		平成 3 0 年 度	目標		平成 2 8 年 度	目標		取組概要				成果及び反省点						
			目標値			目標値						実施値						
成果指標			目標値			目標値												
④ ----- 取組の内容：		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
		平成 3 0 年 度	目標		平成 2 8 年 度	目標		取組概要				成果及び反省点						
			目標値			目標値						実施値						
成果指標			目標値			目標値												

内 部 評 価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	60%以上が保育園や私立幼稚園等から、小学校入学する現状から、「小1プロブレム」解消を図るための、保幼小の接続カリキュラムの積極的な活用を図り、保幼小連携強化に期待する。							

外 部 評 価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	学びの基礎力育成と、小学校への円滑な接続については、これまで実践で保幼小の連携が充実・定着してきた。 幼児教育は制度変化などがあり、従来の取り組みとは違った取り組みが求められていて、事業としては達成していると思われる。 しかし、認定こども園、学内学童など今日的な課題は多いので柔軟な今後取り組みが求められる。 公立幼稚園の今後の在り方については、現状や今後を見据えて慎重に対応する必要がある。							

具体的施策名		教育関係機関等との連携							主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		Iより良い教育環境の形成	
													個別目標		2確かな学力を身に付けさせる教育の推進			
													具体的施策		(6)教育関係機関等との連携			

目的		児童生徒の科学に対する興味・関心を高め科学的な思考力の向上を図るため、教育関係機関等と連携し理科教育の充実に資する。																	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 北部地区における教育関係機関等との連携 取組の内容： ○教育関係機関と連携した自然体験学習等の実施 ○沖高専と連携した中学校におけるキャリア教育の実施 ○「なごサイエンスフェスタ」の実施 ○各小中学校における出前授業等の実施		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			・「夏休み自然体験学習教室」は継続実施できているが、小中学校における関係機関と連携した出前授業等が単発的で継続・定着できていない。								・関係機関の持っているノウハウが、あまり認知されていない。 ・小中学校における、理科クラブ、科学部等(受け皿)の設置が少ない。							
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要 ・「夏休み自然体験学習教室」(GODAC、昆虫採集)2件の実施(71人) ・沖縄工業高等専門学校における体験授業(中学校1校/125人) ・「なごサイエンスフェスタ2017」(1月)の実施。(北部地区及び県内関係機関参画、24団体、ボランティア47人)入場数(1.893人) ・出前授業の実施(小学校における理科学習)(3校/60人)						成果及び反省点 ・体験学習、出前授業等を計画通り実施。 ・なごサイエンスフェスタを継続時に実施できた。 ・小中学校における理科クラブ等の設置増及び取組の定着(H28、1校設置増)			
				目標値	8件		目標値	6件										
	成果指標	科学関係機関等と連携した取組事業の件数														実施値		7件
	② 取組の内容：		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要						成果及び反省点			
				目標値			目標値											
	成果指標															実施値		
	③ 取組の内容：		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
平成30年度			目標		平成28年度	目標		取組概要						成果及び反省点				
			目標値			目標値												
成果指標															実施値			
④ 取組の内容：		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
		平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要						成果及び反省点				
			目標値			目標値												
成果指標															実施値			

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B						
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	教育課程編成時からの調整が不可欠である。 高専と連携の中学校キャリア教育の実施だけでなく、市内の工業、農業の専門高校の活用も検討してはどうか。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B						
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	様々な機関と連携して、事業を行っている点は評価できる。予算の都合もあると思われるが、名護市として主体的に関係機関と継続して連携できる仕組みの検討が必要である。							

具体的施策名		心豊かな人間性を育む教育の推進						主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針	I	より良い教育環境の形成					
												個別目標		3	児童生徒理解に基づく教育の推進						
												具体的施策		(1)	心豊かな人間性を育む教育の推進						

目的		児童生徒一人一人の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高める教育活動を推進する。																	
----	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 情報モラル教育の充実 ----- 取組の内容： 情報化社会で情報を利用した適正な活動を行うために、もともになる考え方や態度を養うための情報モラルに関する児童生徒・保護者向け講演会を各学校で行えるようにする。また、児童生徒の情報化社会における行動や状況を把握し、情報モラル教育に活かしていくために定期的にアンケートやヒアリングを行う。		平成27年度現状								現状をもたらした原因													
			情報モラルに関する研修を行うことで、学校間の指導の統一性を図っている。また、情報モラルについての授業研究会を行い、指導方法について研究を行った。								児童生徒が、基本的な情報モラルについて理解し、情報端末を利用したコミュニケーションの取り方などの情報教育の必要性を認識し、適切な対応を促すため													
			目標				目標				取組概要				成果及び反省点									
			平成30年度		研修内容の充実		平成28年度		研修内容の充実		各学校の取り組みで情報モラルについてインターネットの利用やSNSトラブルについて事例を紹介し、対応の方法について学ぶなど講演や授業を行った。				講演会の予算の確保									
	成果指標		情報モラルに関する研修会または講演会の実施		平成30年度		目標値		市内全小・中学校1回以上		平成28年度		目標値		情報担当者向け1回		実施値				1回			
			情報モラルに関するアンケート・ヒアリングの実施																				0回	
	② 伝統文化の尊重 ----- 取組の内容： しまくとぅばの普及促進につながる活動を推進する 中学校音楽科において三線指導に力を入れる		平成27年度現状								現状をもたらした原因													
			・しまくとぅばの普及促進に関する活動の周知。 ・研修会等において、挨拶などしまくとぅばの使用を奨励。 ・三線指導については、取組なし。								・沖縄県による「しまくとぅばの日に関する条例」制定や「しまくとぅば普及推進計画」の策定により、県内各地において世代を超えて受け継がれてきた「しまくとぅば」の普及推進が高まっている。 ・中学校学習指導要領の「音楽編」において、「郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫すること」と明記されている。													
			目標				目標				取組概要				成果及び反省点									
			平成30年度		伝統文化に触れる機会を増やしアイデンティティを高める		平成28年度		取組及び整備の実施状況		・しまくとぅばの普及促進に関する取組は、各小・中学校の主体的な取組に委ねられているが、教育委員会として沖縄県の取組やイベントなど、周知に努めた。 ・三線指導については、取組なし。 ・研修会等における挨拶などでのしまくぅとばの使用を行った。				・沖縄県発行『しまくとぅば読本』の活用									
	成果指標		校内放送・運動会等行事におけるしまくとぅばの使用		平成30年度		目標値		21校		平成28年度		目標値		21校		実施値				21校			
	③ -----		平成27年度現状								現状をもたらした原因													
			目標				目標				取組概要				成果及び反省点									
			平成30年度				平成28年度																	
成果指標				平成30年度		目標値				平成28年度		目標値				実施値								
④ -----		平成27年度現状								現状をもたらした原因														
		目標				目標				取組概要				成果及び反省点										
		平成30年度				平成28年度																		
成果指標				平成30年度		目標値				平成28年度		目標値				実施値								

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦										
			B	B															
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B																
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	懇話会委員から指摘があった通り、施策名からすると主な取組みとして内容に乏しさを感じる。(平和、いじめ等を加える) 情報モラル教育は、インターネットの利用やSNSトラブルを学ぶ講演や授業をもっと増やし、これらの危険性を話し合い、徹底的に指導する必要がある。昨今の情報化時代では児童生徒だけでなく、保護者も含めて指導回数を増やす必要がある。																	

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦										
			B	B															
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B																
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	情報モラルについては研修や講演会だけでは対応できない課題も発生しているので、現場の事情に即した対応も必要になってくると思われる。 専門性があり、かつ変化の速い情報通信機の活用は今後は一層踏み込んだ取組が必要と思われる。 豊かな心を育むために、他の視点からの方策の検討をしていただきたい。																	

具体的施策名		生徒指導の充実						主管課		学校教育課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		I	より良い教育環境の形成					
												個別目標		3	児童生徒理解に基づく教育の推進							
												具体的施策		(3)	生徒指導の充実							

目的		不登校児童生徒を出さない積極的な生徒指導と不登校児童生徒への適切な対応																	
----	--	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 「名護市生徒指導連絡会」及び「名護市不登校児童生徒連絡会」の充実 各関係機関・団体が連携した生徒指導を充実するため、各連絡協議会を実施し、情報連携・行動連携を図り一人一人の児童生徒理解に基づく指導体制の構築に努める。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			情報連携、行動連携が円滑に行われるよう児童生徒理解についての連絡や教師の指導力向上に係る研修を行った。								関係機関との支援会議などの開催とその後の指導への活かし方							
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点			
			不登校児童生徒数前年度比一割減				不登校児童生徒数前年度比一割減				生徒指導連絡協議会及び不登校児童生徒連絡会を開催し情報の共有や指導力向上を図ると共に関係機関との連携を密にして対応した。 (生徒指導連絡協議会)計4回。関係機関の紹介、事例研究、講演会、事例発表 (不登校児童生徒連絡会)計2回。名護市の不登校児童生徒の実態について、講演会、事例研究会				不登校児童生徒数が前年度より増加している。より緊密に連携し不登校児童生徒数の一割減を達成したい。			
			目標値				目標値											
	69人		69人															
	成果指標	不登校児童生徒数				50件				60件				実施値		107人		
		暴力行為				210件				210件						59件		
		いじめ認知件数				210件				210件						381件		
		いじめ認知後解消件数														360件		
	② 生徒指導支援者を中心とした不登校児童生徒への支援 不登校及び不登校気味で特に個別の指導や相談を必要とする児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動等を通した個別指導を行う生徒指導支援者を派遣し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を図る。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			不登校及び不登校気味の児童生徒の個に応じた対応のために継続的な支援が必要								現在も情報や行動の連携を行っているが、個に応じた取り組みをより一層進める必要がある。							
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点			
			不登校児童生徒数前年度比一割減				不登校児童生徒数前年度比一割減				生徒指導支援者を7校に7人配置し、学校職員と連携して、登校支援や学校での居場所づくり、また問題行動等への対応を行った。また、学校の取り組みや支援者としての在り方について委員会と情報交換を行った。				不登校数が前年度より増加している。より緊密に連携し不登校児童生徒数の一割減を達成したい。			
			目標値				目標値											
	69人		86人															
成果指標	不登校児童生徒数												実施値		107人			
③ 取組の内容:		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
		目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点				
		目標値				目標値												
成果指標													実施値					
④ 取組の内容:		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
		目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点				
		目標値				目標値												
成果指標													実施値					

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	不登校児、暴力行為、いじめ等が減少してない件は、調査方法の問題点とは別にして、今後の指導方法を強化する必要がある。 早期発見・早期対応の充実のために、教師(支援者含む)の「気づき」の視点の確立・向上に努める必要がある。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	問題行動を起こす子供たちへの対応は支援員の配置など評価できる。 目標値よりも数値は悪いが、これからも個別に難しい案件が増加することも予想され、学校側も地域や関係機関との信頼関係や連携体制の確立・強化が望まれる。							

具体的施策名		文化財の保全及び普及活用							主管課		文化課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		Ⅱ		生涯学習社会の実現														
															個別目標		1		文化の保全・活用														
															具体的施策		(1)		文化財の保全及び普及活用														
目的		市内には国・県・市指定の文化財が84件ある。文化財の保全をするとともに、これを公開し積極的に取り組んでおり、市民が地域の伝統や文化に触れ、学ぶ機会を提供し、地域作りに結びつくことを目的としている。また、開発行為の及び恐れのある遺跡の範囲と性格を把握するために調査を実施し、開発調整に資することを目的とする。併せて、発掘調査により出土した遺物の整理や教育普及活動への考古資料の活用にも取り組む。																															
主な取組	① 天然記念物「名護のひんぷんガジュマル」の保全 取組の内容:天然記念物「名護のひんぷんガジュマル」の保全に向けた維持管理の実施及び生育環境の整備		平成27年度現状										現状をもたらした原因																				
			ひんぷんガジュマルの生育状況は良好であるが、長期的な育成環境の整備が望まれる。										ひんぷんガジュマルの生育環境は維持管理処置により樹勢は良好である。長期的な環境整備は意見の集約及び具体的根拠の整理に時間を要している。																				
			平成30年度	目標				平成28年度	目標				取組概要					成果及び反省点															
				ひんぷんガジュマルの保全		目標値			年1回		年1回		年1回		年1回		・樹木医による樹勢診断(1回) ・フレームの点検(1回) ・根鉢管理(3回)・枝の剪定(1回)					現在、樹勢が良好なことから維持管理においては効果が表れている。		実施値		年1回							
	年1回																																
	成果指標		樹木医による樹勢診断		年1回		フレームの点検		年1回		枝の剪定		年1回									年1回											
			年1回																														
	② 重要文化財「津嘉山酒造所施設」保存修理事業の推進 取組の内容:重要文化財「津嘉山酒造所施設」の保存修理		平成27年度現状										現状をもたらした原因																				
			翹屋の解体工事及び保存修理が終了した。主屋の解体工事が終了。保存修理工事に取りかかる。										経年劣化や長年、風雨にさらされてきたことによる。事業の進捗については概ね良好である。																				
			平成30年度	目標				平成28年度	目標				取組概要					成果及び反省点															
				津嘉山酒造所施設の保存修理		目標値			100%		主屋の保存修理		目標値		90%		・津嘉山酒造所施設の主屋の工事 (仮設工事、基礎工事、木工事、屋根工事、耐震補強、雑工事)					計画どおり実施できた。		実施値		90%							
	成果指標		津嘉山酒造所施設の保存修理					90%																									
	③ 天然記念物「名護市嘉陽層の褶曲」の保全 取組の内容:天然記念物「名護市嘉陽層の褶曲」の保全に向けた計画の策定		平成27年度現状										現状をもたらした原因																				
			文化財めぐりや授業、グリーンツーリズムによる利用者が訪れている。保全や利用者の安全のため、管理計画が必要である。										以前より、授業に利用されていたが国指定文化財になったことにより、周知され、さらに多くの方が訪れるようになった。																				
			平成30年度	目標				平成28年度	目標				取組概要					成果及び反省点															
				「名護市嘉陽層の褶曲」管理活用計画策定		目標値			完成		事業実施に向けた現地調査		目標値		—		・干潮時及び満潮時における現状の確認調査(1回) ・授業による利用者への聞き取り調査(1回) ・現地調査及び写真測量					現状の把握ができた。		実施値		—							
	成果指標		「名護市嘉陽層の褶曲」管理活用計画策定					—																									
	④ 埋蔵文化財の保全 取組の内容:開発行為に備えた埋蔵文化財の調査及び重要遺跡の調査		平成27年度現状										現状をもたらした原因																				
			開発に伴う調整やキャンプシュワブの確認調査等が多忙のため、名護グシクなどの重要遺跡の調査が進んでいない。										緊急な開発に伴う調整や複数の発掘調査を同時に行っているため。																				
			平成30年度	目標				平成28年度	目標				取組概要					成果及び反省点															
埋蔵文化財の保護				目標値		埋蔵文化財の保護			目標値				・開発に伴う文化財の有無等の調整(431件) ・埋蔵文化財の確認調査(3件) (キャンプ・シュワブ、愛楽園防潮堤、山入端リゾートホテル予定地、嘉陽上グシク)					重要な遺跡を調査できる体制づくりが必要である。		実施値													
		成果指標																															
⑤ 豊年祭の支援 取組の内容:市内の一部の字で実施される豊年祭の調査及び記録する。		平成27年度現状										現状をもたらした原因																					
		対象とした地域の豊年祭の調査・記録を実施した。										多くの箇所での調査を実施したいが、開催期日の重複などで調査箇所が限定される。																					
		平成30年度	目標				平成28年度	目標				取組概要					成果及び反省点																
			豊年祭の継続的な記録及び調査		目標値			年3箇所		豊年祭の記録及び調査		目標値		年3箇所		・古我知区、屋我区、宮里区、城区の豊年祭調査及び記録 ・これまで調査及び記録した区(47区)					現在の職員体制で3箇所調査記録できた。外部委託も視野に入れる。		実施値		3箇所								
成果指標		豊年祭の調査及び記録					3箇所																										
⑥ 「55区すべてに指定文化財を！」を目標に、市内文化財の周知及び普及・活用の促進 取組の内容:市内55区のすべてに指定文化財を有することができるよう、調査を実施し、利害関係の諸手続が整い次第、指定へと結びつける。		平成27年度現状										現状をもたらした原因																					
		名護小学校の「のぞみの像」の指定に向けて、調査や利害関係の調整を行ったが、指定までには至っていない。										調査に時間を要したことによる。																					
		平成30年度	目標				平成28年度	目標				取組概要					成果及び反省点																
			55区すべてに指定文化財を有する。		目標値			年1件		年1件		年1件		30区		・文化財指定に関する調査 (のぞみの像、部間権現、護佐喜宮、我部の松) ※指定文化財がある区:55区中30区(55%)					調査中であった「のぞみの像」を指定した。		実施値		1件								
4件																																	
成果指標		文化財の指定		年1件		文化財指定候補の調査		年1件		指定文化財がある区		32区									30区												
		32区																															
⑦ 考古資料を活用した出前事業の実施 取組の内容:調査で出土された遺物を活用し、埋蔵文化財及び地域の歴史について普及・啓蒙を図る。		平成27年度現状										現状をもたらした原因																					
		計画した事業については、実施することができたが、学校や地域からの文化財めぐり等について、さらなる普及・啓蒙が必要である。										学校・地域へ考古資料の活用について、予定していたが悪天候のため見合わせた事例があった。																					
		平成30年度	目標				平成28年度	目標				取組概要					成果及び反省点																
			考古資料を活用した地域づくり及び学習機会の提供		目標値			年1回		年1回		年1回		年1回		・名護グシクの資料展示会 ・文化財講演会及び現地見学会の実施(2日間・のべ80人) ・学校関係者の文化財めぐり(2回) ・ハンドブックの作成(1冊)					学校行事や授業で活用されるように学校関係者へ、より普及・啓蒙をする必要がある。		実施値		年1回								
年1回																																	
成果指標		考古資料を活用した文化財めぐり		年1回		講演会の実施		年1回		児童生徒や学校関係者への普及・啓蒙		年1回									年2回												
		年1回																															
内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A・B・C・D)							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A・B・C・D)							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
								A	A	B	B	A	B	B									A	A	B	A	A	A	A				
	総合評価 (A・B・C・D)							A								総合評価 (A・B・C・D)							A										
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	市内の84箇所の文化財の保護・保全と市民への積極的な活用に期待する。 区民への徹底した周知を図る必要がある。 出前事業については、学校と教育課程編成時から取り組むと普及へ繋がるのではないかな。																上記評価とした理由又は特記すべき事項	限られた人数でそれぞれの業務を確実にこなしていると評価できる。 従来は保全はできているが活用が弱かったが、まだ改善の余地はあるもののとてもよくなっている印象である。ヒンブンガジュマルについては、課題にあがっている長期的な育成環境に整備計画をそろそろ期限を決めて取り組んでもいいのではないかと感じている。														

具体的施策名		市民の市史づくり						主管課		文化課		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		Ⅱ 生涯学習社会の実現						
												個別目標		1 文化の保全・活用								
												具体的施策		(3) 市民の市史づくり								
目的		名護市の歴史を文化を調査によって明らかにし、書物として刊行する。そしてその成果を市民へ還元する。																				
主な取組	① 市史の刊行 取組の内容:「名護市史刊行計画」(平成27年7月答申)に沿って、市史本編や資料編等の刊行を行なう。平成34年度に全19巻刊行予定。		平成27年度現状						現状をもたらした原因													
			本編・3「名護・やんばるの沖縄戦」の刊行が遅れ、平成28年度明許繰越となった。						原稿の校正作業に不測の時間を要している。													
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		目標		本編・3「名護・やんばるの沖縄戦」の刊行		・本編・3「名護・やんばるの沖縄戦」発刊及び写真から見る名護の沖縄戦発刊。 ・本編・1「自然と人」調査、原稿執筆。 ・本編・4「戦後生活史」調査。				「自然と人1」は、次年度へ明許繰越となった。その他は、刊行に向けて調査、編さん中。			
			目標値				16巻				目標値											
	成果指標	既刊行数(全19巻)																実施値		13巻		
	② 教育普及活動の推進 取組の内容:市史編さん事業の成果を市民に広報、普及する。北部8高校を対象とした「高校生とともに考えるやんばるの沖縄戦」フィールドワーク(平和学習)の実施、市史セミナーの開催、民話や市民の体験等を基にした紙芝居の製作、各字の字誌刊行へ向けた助言、資料の提供及び補助金の交付、など。		平成27年度現状						現状をもたらした原因													
			戦跡めぐりについては参加者も多く、適切に行なっている。市史セミナーについては、27年度は開催できなかった。						市史セミナーは、本編・3「名護・やんばるの沖縄戦」刊行後に、それに関連したテーマで実施する予定であったが、本の刊行が遅れたため、開催できなかった。													
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		目標		平和学習や様々なテーマでセミナーを開催し、市民が地域に対する理解を深める機会を提供する。		・第22回「高校生とともに考えるやんばるの沖縄戦」FWの開催 ・民話紙芝居16作目「蛙の嫁さがし」(山本川恒翁の語りより)の製作				戦跡めぐりは、高校生と教諭で53人が参加した。市史セミナーは、名護・やんばるの沖縄戦100人参加。			
			目標値				50人				目標値											
	成果指標	戦跡めぐりFWへの参加者数(高校生)																				
		市史セミナーへの参加者数																100人				
		紙芝居の製作総数																16作				
③ -----		平成27年度現状						現状をもたらした原因														
		目標		平成30年度		目標		平成28年度		目標												
		目標値								目標値												
成果指標																						
④ 取組の内容:-----		平成27年度現状						現状をもたらした原因														
		目標		平成30年度		目標		平成28年度		目標												
		目標値								目標値												
成果指標																						

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	A					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	刊行された多くの書物を、多くの市民や教育活動で活用してほしい。市民が気軽に活用できる環境づくりにも期待する。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	A					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	市史の刊行は、校正作業に時間を要し、概ね達成となったが、普及活動への参加者はかなり増加している。							

具体的施策名		新博物館の建設						主管課		博物館		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		Ⅱ 生涯学習社会の実現	
												個別目標		1 文化の保全・活用			
												具体的施策		(4) 新博物館の建設			

目的		名護・やんばる地域の文化を育む中核施設として、また、築50年以上経過し老朽化した建物を、現在のニーズに沿った施設として、新博物館の建設を目指す。																	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 新博物館建設に向けた取組 取組の内容:新博物館の建設用地を確保するとともに、補助メニューの情報を収集・確認し、申請していく。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			用地交渉が白紙に戻り、新たな候補地を選定している。								県有地である「森林資源研究センター跡地」と市有地の等価交換ができないという回答が県からあり、再度、選定作業から始めることになった。							
			目標		平成30年度		目標		取組概要 用地選定作業を継続。 候補地を6つに絞り、用地取得が可能かどうかの検討および、各候補地の実現性の精査を行った。				成果及び反省点 候補地を6つに絞ることができた。					
			建設候補地を決定し、基本設計業務を完了する。				用地選定作業を進める。											
	完了		—															
	成果指標	基本設計業務の完了		目標値		完了(H29)		平成28年度		目標値		検討		実施値		— 検討		
		用地の確保																
	② 新博物館展示のための資料収集・整理・保管 取組の内容:これまで収集してきた資料を整理・確認しながら、新博物館の展示に向けた資料を収集・整理・保管し、市民に展示していきたい。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			貴重な資料を含め、約3万点あまりの資料について、十分に整理できていない。								博物館を運営しながら資料の整理・保管を進めるのは、現状の人員では足りない。							
			目標		平成30年度		目標		取組概要 収集、寄贈、購入等により、民俗資料48点、自然史資料100点、美術資料9点、計157点を収集した。 貴重なものとして、程順則の実母と岳母の厨子壺の寄贈があり、現在、展示室で展示している。また、館山市より寄贈されたザトウクジラの全身骨格の補修・強化処理作業を行った。				成果及び反省点 目標値通り資料の収集はできたが、整理・保管業務が満足にできていない。					
			資料を収集・整理・保管するとともに、利活用を促進する。				貴重な民俗資料や自然史資料等を収集・整理・保管する。											
	30,700点		30,290点															
	成果指標	収集資料数		目標値				平成28年度		目標値				実施値		30,294点		
	③ -----		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
目標			平成30年度		目標		取組概要				成果及び反省点							
目標値		目標値																
成果指標			目標値				平成28年度		目標値				実施値					
④ -----		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
		目標		平成30年度		目標		取組概要				成果及び反省点						
目標値		目標値																
成果指標			目標値				平成27年度		目標値				実施値					

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	博物館建設予定地選定、建設も早急に進めてほしい。多くの市民が新博物館の完成を期待している。早期実現のためには、人材確保すべきである。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	博物館の用地については、振出しに戻ったという点は残念であるが、再度用地の選定を継続している点は評価できる。 資料収集は目標通り達成できている点は評価できるが、約3万点を整理・保管するには、人手を増やさないと無理ではないか。							

具体的施策名		市民に開かれた利用しやすい図書館運営						主管課		中央図書館		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		Ⅱ生涯学習社会の実現	
												個別目標		2		図書館サービスの充実	
												具体的施策		(1)		市民に開かれた利用しやすい図書館運営	

目的		「図書館は市民の本棚、暮らしの中に図書館を!」市民の要望や社会情勢に目を向け、豊富で多種多様な資料・情報の提供を行い、学校教育を援助し家庭教育の向上に向けて市内全域へのサービスの充実と読書環境の整備を図る中で、市民が利用しやすい多様な学習機会の提供と支援に努める。													
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① リクエスト、レファレンスサービスの充実・実施 取組の内容:利用者からの予約・リクエストに可能な限り応え、レファレンスサービスにも迅速に対応できるよう幅広い蔵書構成を心がける。またインターネットを活用したサービスの充実にも取り組む。		平成28年度現状						現状をもたらした原因							
			予約・リクエストサービス及びレファレンスサービスともに、目標値を達成できなかった。						蔵書点検と照明工事のために6月中を休館としたことが一因として考えられる。							
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点			
				予約・リクエスト・レファレンスサービスの充実			レファレンスサービスのPRと充実		①予約・リクエストサービス件数… 2,928件(予約2,055件、リクエスト873件) ②レファレンスサービス件数 … 1,034件				レファレンスサービスについての図書館の取組みについて広報することが必要			
	成果指標	予約・リクエストサービスの受付件数		目標値	4,100件		目標値	3,000件						実施値	2,928件	
		レファレンスサービスの受付件数			2,500件			2,000件							1,034件	
	② 学校図書館司書との連携 取組の内容:市内外小中学校図書館司書と中央図書館司書との連絡会をもち、学習支援や読書活動の充実に向けて協力していく。また共同で推薦図書リストを作成し、読み聞かせやレファレンスに対応できるよう図書資料を充実させる。		平成28年度現状						現状をもたらした原因							
			学校図書館を通して、学校で必要な資料の選定及び貸出を行った。						授業で必要な資料を公共図書館から借りることが定着しつつある。学校からの貸出要請件数はFAXでの事前依頼によるため、直接来館して依頼があった場合は件数に含まれていない。							
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点			
				学校と連携し推薦図書リストを作成し、活用する			学校と連携し、学習に必要な資料を充実させる		学校から研究授業等で使用する図書資料の貸出要請があった際の、資料の選定と提供(16件)。※学校が希望するテーマの資料を30～100冊程度選定して提供。				授業に関連する資料の情報を集め、資料を必要数を揃えるなどの対応			
	成果指標	学校からの資料貸出要請の件数		目標値	38件		目標値	20件						実施値	16件	
		推薦図書リスト作成件数			1件			1件							—	
	③ ボランティアによるおはなし会の継続 取組の内容:毎週土曜日のおはなし会、月2回の赤ちゃんから幼児向けのおはなし会、春・クリスマスの特別おはなし会の開催		平成28年度現状						現状をもたらした原因							
			英語のおはなし会は好評で、定着しつつある。土曜日のおはなし会の参加者が減少している。						英語のおはなし会、ぴよぴよおはなし会はロコミなどで参加者が定着しつつある。土曜日のおはなし会は他のイベント等とも重なることが多いため、開始時間には対象の子ども達が図書館にいないことが多い。							
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点			
				おはなし会の定期開催と乳幼児向けおはなし会の充実			定期的なおはなし会の開催		①毎週土曜日のおはなし会…42回 491人 ②ぴよぴよおはなし会(月2回)… 17回 228人 ③特別おはなし会…6回 291人 ④英語のおはなし会(月1～2)…20回 223人 計 85回 /1,233人				土曜日のおはなし会の開始時間及び内容の検討が必要。			
	成果指標	おはなし会開催数		目標値	85回		目標値	50回						実施値	85回	
	④ 市民の要望に考慮した講演会 取組の内容:一般・児童・郷土チームそれぞれで企画しての講演会・ワークショップ等の開催		平成28年度現状						現状をもたらした原因							
			講座数は減ったが、開催回数の多い講座が増えた。名護市と関わりのある講師を招いた講演会も開催したが、参加者が少なかった。						講演会の広報が遅れて、参加者が少なかった。							
平成30年度			目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点				
			市民のニーズに応え、地域の人材を活用したイベントの実施			市民の要望に即したイベントの実施		①アメリカ情報コーナー企画(ハワイアンフラ・英会話・kidsイングリッシュ・留学説明会・クッキング)687人 ②講演会「いっぽ いっぽ」36人 ③講演会「世界チャンピオンへの道と今」23人 ④知育玩具講座8人 ⑤親子工作&読み聞かせスキルアップ講座20人 ⑥JOYBEAT・健康測定785人 ⑦子ども司書体験講座6人 合計 7講座72回・参加者総数1,565人				定期的に開催している講座は好評であり、参加者も定着してきている。講演会も内容は好評であり、広報面の改善が必要。				
成果指標	講演会・ワークショップ等開催数		目標値	15講座		目標値	8講座						実施値	7講座(72回)		
	講演会・ワークショップ等参加者数			1,200人			950人							1,565人		
⑤ 企画展等の実施 取組の内容:絵本原画展、給食係など他の部署との共催による企画展、アメリカ情報コーナー関連のポスター展		平成28年度現状						現状をもたらした原因								
		新美南吉絵本原画展は好評だった。図書館企画の展示以外にも、他課の主催する企画展を実施。						絵本原画展は、画家本人による読み聞かせや似顔絵を描いてもらうなど、今までにない形での実施だった。また、他課主催の企画展については、図書館での展示が広報や啓蒙活動に有効であると知られてきたためだと思われる。								
		平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点				
			様々なジャンル、他機関との合同企画展			市民の要望、市民生活に役立つ企画展示		①新美南吉絵本原画展～沖縄・祈りと出合い展 ②戦争と平和を考える～戦後70年のあゆみ展(郷土コーナー、羽地図書室) ③アメリカ情報コーナーポスター展(4回)				原画展にあわせて開催したおはなし会も好評だった。				
成果指標	展示会開催数		目標値	8回		目標値	3回						実施値	6回		

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B	A	A	A		
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	色々な企画の開催と、とても良いので、参加増に期待したい。 多様な取組や改善がなされ、多くの市民が利用しやすい図書館に期待する。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B	A	B	A		
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	どの取り組みも充実していて高く評価できるが、学校現場へのレファレンスサービスや学校図書館司書との連携、市民への広報については、積極的にアプローチしていただきたい。							

具体的施策名		全市民へ公平なサービスの提供						主管課		中央図書館		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		Ⅱ生涯学習社会の実現	
												個別目標		2図書館サービスの充実			
												具体的施策		(2)全市民へ公平なサービスの提供			

目的		①広域住民への公平なサービスの提供 ②家庭・地域・教育関連機関の協力・連携を図りつつ、子ども達が自主的に読書活動が行えるよう資料及び読書環境の整備													
----	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 移動図書館、羽地地区センター図書室の充実 取組の内容： 月1回・28箇所の巡回ステーションでの貸出業務、本庁・学校・企業等へのセット貸出（配本）、羽地地区センター図書室での講座・ワークショップの開催		平成28年度現状						現状をもたらした原因						
			移動図書館、羽地地区センター図書室ともに前年度よりも貸出冊数減。						移動図書館の貸出冊数が目標値に達していないのは、蔵書点検休館が通常より長かったこと、3月のセット配本中止、巡回ステーションの見直しによる。羽地地区センター図書室についても、蔵書点検休館の影響があると思われる。						
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点		
				広域住民への貸出サービスとニーズに合った講座の開催			広域住民への貸出サービスと、ニーズに合った講座の開催		①市内28か所のステーションに月1回の巡回サービスを行った。また、夏休み期間中に特別巡回を5か所で実施した。 ②移動図書館独自の子ども司書体験を実施。 ③羽地地区センター図書室で、大人のための絵本よみがたりを開催した。（参加者9人）				羽地地区センター図書室での講座等開催を増やし、利用へつなげる必要がある。		
	成果指標	移動図書館年間貸出冊数		目標値	55,000冊		目標値	55,000冊		実施値				42,199冊	
		羽地地区センター図書室貸出冊数			15,000冊			7,753冊							
		羽地地区センター図書室講座開催数			6回			3回						1回	
	② 地域公民館、企業等へのセット貸出の推進 取組の内容： 公民館、企業、本庁内の希望部署に、毎月1回セット本の配本を行っている。※図書館であらかじめ1セット50冊の図書のセットを組み、各団体に届けている。巡回ステーションでもセット本の貸出を行っている。		平成28年度現状						現状をもたらした原因						
			セット貸出先の増減があった。配本については概ね好評だった。						相手方の理由によるセット貸出中止が1か所、あらたに希望する事業所が2か所あり、1増となった。						
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点		
				図書館利用が難しい企業・団体への配本サービスの充実			本庁・企業・団体への配本サービス		①本庁内の部署、企業等9か所のステーションへの配本（月1回） ②移動図書館の巡回ステーションでのセット本の貸出				配本サービスは目標値に近づいている。移動図書館の巡回ステーションでも実施し、好評を得ている。		
	成果指標	セット貸出ステーション数		目標値	10か所		目標値	7か所		実施値				9か所	
③ 取組の内容：-----		平成27年度現状						現状をもたらした原因							
		平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点			
成果指標			目標値			目標値			実施値						
④ 取組の内容：-----		平成27年度現状						現状をもたらした原因							
		平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点			
成果指標			目標値			目標値			実施値						

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	A					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	学力向上主要テーマの関係から、市民へ広く啓発する上からも企業への貸出を推進してはどうか。移動図書館車の活動を増やし、羽地地区図書館の蔵書も増やして、市民が公平なサービス提供が受けられる様に工夫が必要ではないか。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	A					
	総合評価 （ A ・ B ・ C ・ D ）		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	移動図書館、羽地地区図書貸出し冊数は目標値まで届かなかったが、生涯学習社会の実現という大きな教育方針に沿ったもので、事業として評価できる。子どもの読書活動の充実は、教育委員会でも重点事項であり、学校現場や区の公民館等と連携して貸出冊数を増やす方策を考えていただきたい。							

具体的施策名	市民会館事業の充実	主管課	文化スポーツ振興課 (社会教育課)	第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ	教育方針	Ⅱ	生涯学習社会の実現
					個別目標	3	芸術文化を偕都雄するための環境づくりの推進
					具体的施策	(1)	市民会館事業の充実
目的	市民が芸術文化を身近に感じることができるよう、市民の芸術創造活動への参加と交流を促す。また、文化団体の支援を行うことにより、地域全体に芸術文化を普及させ、潤いと活力あるまちづくりの実現のために、自主芸術文化事業の企画・運営を行う。更に、市民のニーズに沿った芸術文化公演や展示会、文化庁・各財団等の補助・助成金を活用した事業を実施する。						

主な取組

	① 地域の芸術文化を生かしたまちづくりの展開 取組の内容:市民へ、人とまち、人と文化をつなぐ新たな芸術創造活動への参加と交流を促し、潤いと活力のあるまちづくり実現のための自主文化事業を年に約20回の公演の企画・運営を行っている。		平成27年度現状				現状をもたらした原因						
			公演の鑑賞者増を図るための広報・周知として、市民のひろばへの掲載及び市内小中学校へのチラシ配布また、市内及び近隣町村の公共施設等へのポスター、チラシ配布を行い、周知を図っている。				広報・周知については、現状の取り組みだけではなく、今後更なる集客増が期待できるような、手法について十分に検討する必要がある。						
			目標		目標		取組概要		成果及び反省点				
	成果指標	公演の企画数		平成30年度	新たな芸術創造活動により潤いと活力のあるまちづくりの実現		平成28年度	より多くの市民の方々に芸術文化鑑賞の機会を提供する。		・宝くじ文化公演「夏川りみと京都フィルハーモニー室内合奏団コンサート」(1,000人/1,000人) ・夏休み親子鑑賞企画 玉川芸術大学パフォーミングアーツによる「ちゃんぷるーしあたー」2016(150人/300人) ・平成28年度名護市教育の日関連事業 林洋子「宮沢賢治語り芸」クラムボンの会 名護公演 (250人/200人)※2回公演の合計 ・琉球芸能「彩・風・香」沖縄県立芸術大学OB若武者で創る沖縄の伝統芸能公演(400人/600人) ・名護市民会館クリスマスプレゼンツ 劇団たんぽぽ「いのちのまつり」演劇公演(鑑賞者600人/700人)	知名度が高い企画は、目標入場率を達成できた。知名度が低い企画について、集客増の工夫必要。ただし、知名度が低くても質の高い企画は、今後も継続する。		
		公演の鑑賞者入場率			目標値			5回				実施値	5回
					100%			100%					83%
			目標値										
	② 市民参加型事業の充実(ピックリスマス等) 取組の内容:芸術文化を鑑賞するという立場から、自らが実際に芸術文化に触れ、参加・体験することにより、芸術文化への関心が高まる。		平成27年度現状				現状をもたらした原因						
			公演の鑑賞者増及び事業への参加者増を図るための広報・周知として、市民のひろばへの掲載及び市内小中学校へのチラシ配布また、市内及び近隣町村の公共施設等へのポスター、チラシ配布を行い、周知を図っている。				広報・周知については、現状の取り組みだけではなく、今後更なる集客増が期待できるような手法について、十分に検討する必要がある。。						
			目標		目標		取組概要		成果及び反省点				
成果指標	公演の企画数		平成30年度	市民自らが、直接芸術文化に、触れ参加することにより、地域の芸術文化の活性化へと繋げる。		平成28年度	市民自らが、参加し、参加者同士が交流することで芸術文化の活性化へと繋げる。		・第32回市民音楽祭(鑑賞者400人/700人)(参加者209人) ・コーラスワークショップin名護・やんばる～出会いの歓びをコーラスに～辻秀幸先生を迎えて 参加者100人 ・コーラスフェスタin名護・やんばる～出会いの歓びをコーラスに～(鑑賞者361人/500人)参加者200人※鑑賞者数は参加者200人含む	参加者数は、良好。引き続き、参加者の裾野の拡大を図っていくことが、課題である。			
	公演の鑑賞者入場率			目標値			3回				実施値	3回	
				100%			100%					63%	
		目標値											
③ 高齢者、障がい者施設へのアウトリーチ事業の拡充 取組の内容:芸術鑑賞体験の機会が制限される福祉施設等の社会的弱者へ質の高い芸術文化を身近に体験させることにより、豊かな感性を育み、また、芸術文化への関心へと繋げる。		平成27年度現状				現状をもたらした原因							
		市内在の各高齢者・障がい者施設等、全ての施設において事業実施できるかが、課題である。				市内の各施設と連携を密にし、計画的なアウトリーチ事業の実施・展開が必要である。。							
		目標		目標		取組概要		成果及び反省点					
成果指標	企画回数		平成30年度	アウトリーチ事業を継続して展開し、芸術文化に関心のある層を増やし、観客増に繋げる。		平成28年度	プロのアーティストを地域の福祉施設に派遣し、芸術文化への関心を高める。		・名護市児童合唱団ふれあいコンサート 特別養護老人施設かりゆしぬ村(約100人)	平成28年度については、各アーティストと各施設との日程調整が付かず、実施が困難であった。			
				目標値			5回				実施値	1回	

具体的施策名		中央公民館の充実						主管課		地域力推進課 (社会教育課)		第2次名護市教育振興基 本計画での位置づけ		教育方針		Ⅱ 生涯学習社会の実現	
												個別目標		4 公民館活動の充実			
												具体的施策		(1) 中央公民館の充実			

目的		市民ニーズに応じた各種事業に取組み、生涯学習機会の提供や市民が誰でも気軽に集える生涯学習の拠点となるよう、施設の管理・運営の向上に努める。																	
----	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主 な 取 組	① サークル団体の支援及び発表機会の提供 取組の内容:毎年サークル団体登録を行ってもらい、登録団体へは施設使用料の減免等を行っている。 毎年10月から3月まで、1サークルにつき2週間の展示発表を中央公民館で行っている。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			それぞれのサークルは活発に活動しているが、展示発表や舞台発表の際に関係者以外の観覧者があまりいなかったため、舞台発表については市内イベントで活動を披露できるよう支援を行った。								・展示発表については、周知不足が原因と思われる。 ・舞台発表については観客が多く見込まれる市内イベントへ参加する支援を行った。							
			目標				目標				取組概要				成果及び反省点			
	成果指標	中央公民館サークル団体数		平成 3 0 年度	稼働率の低い部屋の利用の促進を行い目標値に近づける		平成 2 8 年度	サークル団体の増		サークル登録団体数: 49 展示発表:10/17から3/19まで開催 10組のサークルが発表を行った。 舞台発表: 3/12福祉祭りと合同で開催 舞台系サークルへ参加希望アンケートを取り、6組のサークルが発表を行った。 毎年サークル団体登録を行ってもらい、登録団体へは施設使用料の減免等を行っている。				サークル間で出来るだけ曜日と時間が被らないように調整している。 調理室の稼働率が低いので、その分サークル増が可能である。 桜祭りやその他市内イベントへの出演や、市外の発表会へ参加しているサークルもある。				
		目標値			55団体			目標値		50団体		実施値				49団体		
		1回			1回			1回		1回								
	② 社会的な課題をテーマにした講座の実施 取組の内容:社会の変化や要望に応じた講座を実施し、市民活動の向上を目指している。		平成27年度現状								現状をもたらした原因							
			提案型や地域課題解決型の講座等を計画的に行っており、定員に対する参加率も高い。								市民アンケートや学校アンケートを基に講座を企画し、地域コーディネーターの協力で周知もうまくいったと考えられる。							
			目標				目標				取組概要				成果及び反省点			
	成果指標	講座実施数		平成 3 0 年度	市民生活向上につながる講座の開催		平成 2 8 年度	市民生活向上につながる講座の開催		(公民館提案型講座:8回) ・子ども美術教室:43人 ・子ども書道教室:16人 ・親子でMy積木づくり:25人 ・親子発酵体験講座:137人 ・大人のイタリアン講座:29人 ・手作りパン講座:4人 ・沖縄の行事食講座:24人 ・初心者のかぎやで風体験講座:20人 (地域課題解決型講座:3回) キッズダンス教室:22人 ・自治公民館会計税務講座:61人 ・親子の絆づくり料理教室:19人 (学童思春期講座:7回) ・ペアレントトレーニング:26名 ・親子でけがをしない体づくり:100人 ・こころはどこにありますか:130人 ・すべてにありがとう:501人 ・夢を叶える黄金の五か条(東江中):300人 ・夢を叶える黄金の五か条(大宮小):41人 ・10年後のために今出来ること:31人 (乳幼児期講座:3回) ・ママはおうちのセラピスト:14組 ・親子で英語リトミック(Galopクラス):10組 ・親子で英語リトミック(Trotクラス):11組				学童思春期講座については市内全小中学校からアンケートを取り、要望のあった全7小中学校で講座を開催出来た。 調理室を使用するサークル化に向けて、料理関係講座を多く(3講座)取り入れた。				
目標値		25講座			目標値			25講座		実施値				21講座				
100%		100%			108.47%													

内 部 評 価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	A					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	市民ニーズに応じた各種事業に取り組み、社会的な課題をテーマにした講座の実施で多くの参加者があり、今後も活発に継続してほしい。 課題を明確にした、地域公民館との連携の在り方を検討してほしい。							

外 部 評 価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	サークル活動に関しては、特定のサークルが施設を専有することなく多種多様のサークル活動を支え、発展できるよう、施設管理・運営がなされている点が評価できる。 講座については、従来からの取り組みは非常に高く評価できる一方で、学校教育と生涯教育の役割を再確認(学社連携は非常にいいこと)してほしい。学校教育を補完することのみが社会教育ではないので、市民の生涯学習としてどのようなテーマを提示していくか検討を深め、生涯学習社会の実現という大きな目標に向けて、中央公民館の役割を確認し、市民ニーズに応えていくことを期待する。							

具体的施策名		スポーツ活動事業の推進						主管課	文化スポーツ振興課 興課 (社会教育課)	第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針	Ⅱ	生涯学習社会の実現												
											個別目標	5	スポーツ・レクリエーション活動の充実													
											具体的施策	(1)	スポーツ活動事業の推進													
目的		市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。																								
主な取組	① 各種スポーツ教室の開催(テニス、水泳、ウォーキング等) 取組の内容:各種スポーツ教室の開催		平成27年度現状								現状をもたらした原因															
			各種スポーツ教室や地域イベントでのスポーツ体験教室、体力測定、ツール・ドール輪車大会、チュックボール大会を開催している、高齢者の方々が参加できる環境がまだ不足している。								気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいるが、スポーツに馴染みのない市民も多いことから、地域に出向いての活動を増やす必要がある。															
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点											
			子どもから高齢者まで市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。				子どもから高齢者まで市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。				・シーカヤック教室(40/40人) ・少年少女水泳教室(31人/50人 9回講座) ・地域スポーツ教室(宇茂佐区2回開催/計45人) ・地域イベントでのスポーツ体験教室(羽地ダムまつり366人・ツデーマーチ100人/計466人) ・体育の日市民体力測定(41人) ・ツール・ドール輪車大会(270人) ・チュックボール大会(30人) ・小学校交流駅伝競走大会(参加者:373人 市内13校)				・地域公民館でのスポーツ教室や地域イベントでのスポーツ教室等を開催することで、気軽にスポーツに親しむ環境づくりに取り組んでいるが、今後は、更に地域公民館へ出向いて活動に取り組みたい。											
			目標値				2,000人								12回		1,200人		4回		実施値		1,296人		2回	
	成果指標		スポーツ教室等への参加者数		地域スポーツ教室等の開催回数				目標値		12回				1,200人		4回				実施値		1,296人		2回	
	② 学校プーラー般開放事業 取組の内容:学校プーラー般開放事業		平成27年度現状								現状をもたらした原因															
	夏季休業期間中に、学校プール施設(羽地中、久辺中、緑風学園)を活用し実施。								小中学校の夏季休業開始前に利用案内を行っていることもあり、利用者が多い。継続して実施したい。																	
	成果指標		目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点											
			学校プール施設(羽地中、緑風学園)を活用し、市民の体力向上と水泳の振興に努める。				学校プール施設(羽地中、緑風学園、久辺中))を活用し、市民の体力向上と水泳の振興に努める。				下記学校プールを活用し一般開放(20日間)を行った。 羽地中:705人 緑風学園:257人 合計962人				・学校プール施設を開放することで、普段水泳に親しむことがない市民が気軽に利用できる環境を整えており、引き続き事業を継続していきたい。											
			目標値				1500人								1,200人		962人									
	③ スポーツ推進委員の組織強化及び活動支援 取組の内容:スポーツ推進委員の組織強化及び活動支援		平成27年度現状								現状をもたらした原因															
	全国、九州、沖縄県、北部地区の研修会への参加及び自主研修を実施。新規委員の確保に向けた取組。								積極的に研修会へ参加し自己研鑽を重ねているが、新規の委員確保が厳しい状況となっている。																	
	成果指標		目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点											
			スポーツ推進委員の資質向上及び技能向上を図り、必要な人員を確保する。				スポーツ推進委員の資質向上及び技能向上を図り、必要な人員を確保する。				・北部地区スポーツ推進委員研修会(6月開催:参加11人、3月開催:参加17人) ・沖縄県スポーツ推進委員研究大会及び研修会(8月開催:参加者10人、12月開催:参加者19人) ・全国スポーツ推進委員研究大会(11月開催:参加者1名 福井県鯖江市) ・九州地区スポーツ推進委員研究大会(2月開催:1名 熊本県熊本市) ・自主研修会:月例会を毎月第3木曜日に開催しており、毎回12、3人の名護市スポーツ推進委員が参加 ・教育委員会主催のスポーツイベントにおいて運営役員として活動 ツール・ドおきなわ輪車大会12人・沖縄県チュックボール大会8人 ※共催行事として、名護市ワラビニック6人、NAGOハーフマラソン9人が運営役員として活動				・各種研修会へ名護市スポーツ推進委員が参加し、自己研鑽を重ねており、その成果を地域へ還元していることから、引き続き研修会への参加を促していきたい。しかしながら、委員も高齢化してきていることから、今後、新規委員の開拓も必要となっている。											
目標値			16回				16回								16回		実施値		16回							

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B	B				
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	地域スポーツ教室等の開催回数の実施値が2回では、30年度の目標値に遠く、課は違うが「地域公民館の充実」との連携等の工夫が必要である。 各種スポーツ教室、軽スポーツ大会等の広報活動を活発にして、多くの市民が気軽に参加して、親しめる環境が必要である。 プールは、屋我地及び屋部地区等でも気軽に使える施設が必要である。							
外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			B	B	B				
外部評価	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	スポーツ活動を支える人材の確保に工夫が必要であり、スポーツ推進委員の研修はさらに推進して行ってほしい事業で、ニュースポーツ等の教室は市民への広がりを考えると工夫が必要と感じる点もある。概ね評価できる取り組みである。 学校プール開放事業は市民ニーズと合致しているのかはチェックして、他の取り組みがないのか検討する必要があるのではないかと感じる。							

具体的施策名		青少年のスポーツ活動の推進						主管課		文化スポーツ振興課 (社会教育課)		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針 Ⅱ 生涯学習社会の実現 個別目標 5 スポーツ・レクリエーション活動の充実 具体的施策 (2) 青少年のスポーツ活動の推進		
目的		子どもたちにスポーツの楽しさや達成感などを実感できる環境を整備することで、スポーツ活動の推進を図る。														
主な取組	① ジュニアを中心としたトップアスリートの育成・強化及びスポーツ少年団の組織化及び指導者育成の推進 取組の内容:スポーツ少年団等の指導者育成を図るため講習会を開催する		平成27年度現状						現状をもたらした原因							
			子どもたちのスポーツ活動に関する課題(練習時間の過多、食事面など)が出ている。						子どもたちのスポーツ活動に関わる指導者の育成・確保に取り組む必要がある。							
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要 名護市体育協会と連携し、1回(10月)のスポーツ団体等の指導者講習会を開催(受講者数12人)。				成果及び反省点 ・指導者だけでなく、保護者への参加周知を図っていきたい。			
				目標値	2回		目標値	2回								
	100人	50人														
	成果指標	指導者講習会開催件数	目標値	25団体	目標値	20団体	実施値	1回								
		指導者講習会受講者数				12人										
		スポーツ少年団数						18団体								
	② プロ選手やトップアスリートによるスポーツ教室の開催 取組の内容:県内・県外で活躍するプロ選手によるスポーツ教室を開催する。		平成27年度現状						現状をもたらした原因							
			ハンドボール、バスケットなど県内のプロ選手によるスポーツ教室を開催。						県内においてハンドボールやバスケットなどのプロリーグの立上げにより、一流選手のプレーを身近に観ることができる環境が増えたことやスポーツ教室等の開催も増えてきている。							
			平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要 自転車競技のプロチームである那須ブラーゼンによる自転車安全教室を開催。(3月開催参加者数30人)				成果及び反省点 ・初めて自転車競技のプロチームによる教室を開催できたことは、意義があった。今後は、様々な競技のプロ選手などを招聘できるよう取組んでいきたい。			
				目標値	3回		目標値	1回								
	50人	50人														
	成果指標	スポーツ教室の開催件数	目標値		目標値		実施値	1回								
		スポーツ教室参加者数				30人										
③ 取組の内容:		平成27年度現状						現状をもたらした原因								
		平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点				
			目標値			目標値										
成果指標		目標値		目標値		実施値										
④ 取組の内容:		平成27年度現状						現状をもたらした原因								
		平成30年度	目標		平成28年度	目標		取組概要				成果及び反省点				
			目標値			目標値										
成果指標		目標値		目標値		実施値										
内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦							
			C	B												
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		C													
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	講習会を計画しても、参加者が少なくともは目的は達成できない。各種団体と連携し多くの指導者、競技者が興味関心を持てる事業にしてほしい。 ジュニア、少年スポーツ育成強化の為に指導者を育てる内容が乏しいと感じる。														
外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦							
			C	B												
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B													
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	プロ選手による指導は個別の競技で実施している部分もあり、大切な取り組みではあるが、まず部活と学校生活の関係や指導者の意識改革など、①の事業を充実させていくことが急務である と考える。 ここは教育委員会しかできない部分でその役割発揮が望まれる。 プロ選手やトップアスリートによるスポーツ教室の回数を増やせれば参加者増となる。														

具体的施策名		社会体育施設の整備						主管課		文化スポーツ振興課 (社会教育課)		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針		Ⅱ 生涯学習社会の実現	
												個別目標		5		スポーツ・レクリエーション活動の充実	
												具体的施策		(4)		社会体育施設の整備	

目的		施設の維持管理及び利用者が快適に活動できる施設の整備拡充を図る。																	
----	--	----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な取組	① 真喜屋運動広場の再整備事業 取組の内容:多目的広場として、様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施する。		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
			本体整備工事に係る実施設計を完了したが、今年度予定していた拡張部分の用地取得についてはH28年度に繰越。								森林法に基づく保安林指定の解除及び都市計画法に基づく開発行為許可の手續に時間を要したことから、H29年度へ一部工事を繰越すこととなった。								
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点				
			整備事業の完了済(平成28年度)				本体整備工事の完了				①平成24年度完了:基本設計 ②平成25年度完了:県資材ヤード移転先造成設計 ③平成26年度完了:県資材ヤード移転先造成工事(繰越事業)、拡張部分(国有地)用地測量 ④平成27年度完了:実施設計(繰越事業)、拡張部分(真喜屋区有地)用地分筆測量、海岸保全区域の一時解除手續 ⑤平成28年度完了:拡張部分用地取得(国有地及び真喜屋区有地)、海岸保全区域再設定手續、保安林解除手續 ⑥平成29年度予定:本体整備工事完了				・保安林解除手續及び開発申請手續に時間を要したことから、本体整備工事の完了が遅れることとなった。				
	目標値		完了(H28)				目標値												完了
	目標値				目標値														
	成果指標	真喜屋運動広場の拡張整備																	
	成果指標																		
	② 体育施設維持管理業務及び改修事業 取組の内容:施設の維持管理及び経年劣化している設備等の更新を実施する。		平成27年度現状								現状をもたらした原因								
			不具合等が生じている箇所の修繕を行い、維持管理に努めた。								設備等の経年劣化による不具合が度々生じている。								
			目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点				
			利用者が快適に利用できるよう維持管理を行う				利用者が快適に利用できるよう維持管理を行う				・管理施設として、21世紀の森体育館、名護市陸上競技場、羽地ダム多目的広場、名護市B&G海洋センタープールがあり、指定管理者による運営管理を行っている。また、不具合等の修繕等を行っている。 ※NPO法人名護市体育協会管理:21世紀の森体育館、名護市陸上競技場、羽地ダム多目的広場 ※名護市B&G海洋センター指定管理者共同企業体:名護市B&G海洋センタープール				・利用者が増えている一方、経年劣化による不具合箇所の修繕も多くなっている。				
	目標値		250,000人				目標値												200,000人
	目標値				目標値														
成果指標	管理施設利用者数																		
成果指標																			
③		平成27年度現状								現状をもたらした原因									
		目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点					
目標値						目標値													
目標値				目標値															
成果指標																			
成果指標																			
④		平成27年度現状								現状をもたらした原因									
		目標		平成30年度		目標		平成28年度		取組概要				成果及び反省点					
目標値						目標値													
目標値				目標値															
成果指標																			
成果指標																			

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	真喜屋運動広場の完成が急がれる。完成後は多くの団体の有効活用が期待できる。名護市陸上競技場は駐車場に問題があり(周辺民家への迷惑)、早急に総合運動場に取り組む必要がある。部分的整備をしながら、今後はスポーツコンベンションの発想の下、総合的な施設整備を推進する必要がある。							

外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			A	B					
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B						
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	市民が快適に利用できるように、施設のメンテナンスと同時にスタッフのサービス向上も努力すると、さらに利用者数の増加や使い方・マナー等の向上につながると思われるので、ソフト面の充実を期待する。							

具体的施策名		家庭教育の支援				主管課		総務課、学校教育課、地域力推進課 (社会教育課)		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針 個別目標 具体的施策		Ⅲ 1 (2)		学校・家庭・地域の連携・協力体制づくり 地域・家庭の教育力の再生 家庭教育の支援					
目的		青少年の健全育成体制の充実及び家庭教育の支援を図るため、学校・家庭・地域及び関係機関が連携して、地域全体で子どもを育む体制を整えていきます。																			
主 な 取 組	① 「家庭教育支援事業」の推進 取組の内容:家庭教育支援チームを組織し、保護者や子育て支援関係者への研修会・講演会等の学習機会の企画・実施や家庭教育支援アドバイザーの養成し、成長発達段階の子どもとの関わり方を学ぶ「親のまなび愛プログラム」に取り組む。		平成27年度現状						現状をもたらした原因												
			平成 30 年度		保護者へ家庭教育に関する学びの場を提供することによって、子育てに前向きに取り組み、家庭教育が向上する。		平成 28 年度		保護者へ家庭教育に関する学びの場を提供することによって、子育てに前向きに取り組み、家庭教育が向上する。		○夢実現「親の学びあい」プログラムの実施 ・久辺幼稚園・栄光幼稚園・あい保育園・東江幼稚園・名護幼稚園・名護小学校・緑風学園幼稚園・緑風学園・緑風学園・キリン保育園・ひるぎ学園・緑風学園・安和幼稚園・屋部小学校(15回:191人) ○親の学びの場の提供 ・子どもの夢を叶えたい保護者へ！「夢を叶える！黄金の五か条」(53人) ・親子でMy積木づくり、親子で体験・コミュニケーション(親子15組(25人)) ・インターネット・スマートフォン教育講演会(70人) ・～家庭で子どもの命を守ろう～普通救命講習Ⅲ(29人) ・保護者向け『ネット・スマホと上手に付き合うための親の学び講座』(20人) ・～子育て中のパパ・ママへ～ゆんたくCafé(13人) ・～子育て中のパパ・ママへ～絵本マルシェ(55人)				学校の授業参観やPTAの集まりを利用し、保護者を対象「親まなびあいプログラム」講座を実施し、実施校校長や参加者から好評を得ている。また、様々な親の学びの場の提供を行った。						
																	実施値		484人		
	成果指標		研修会等への参加者数		目標値		300人		目標値		300人										
	② 子育てについての課題や悩みを解消するため、地域や学校と連携した講座の実施 取組の内容:子どもの発達段階に応じた子育てについての課題や悩みを解消するため「乳幼児期」「学童期・思春期」講座を学校と連携して実施。		平成27年度現状						現状をもたらした原因												
			平成 30 年度		講座の開催		平成 28 年度		講座の開催		(学童思春期講座7回)①ペアレントトレーニング:26人 ②けがをしない体づくり:100名③ころはどこにありますか:130人 ④すべてにありがとう:501人 ⑤夢を叶える黄金の五か条(東江中):300人 ⑥夢を叶える黄金の五か条(大宮小):41人 ⑦10年後のために「今」できること:31人 (乳幼児期講座)①ママはおうちのセラピスト:14組 ②HopStepENGLISH Galopクラス4回:40組 ③HopStepENGLISH Trotクラス4回:44組				学童思春期講座については市内全小中学校からアンケートを取り、要望のあった9校中7校で講座を開催出来た。						
																	実施値		10回		
成果指標		課題別子育て講座回数		目標値		15回		目標値		12回											
③ 「家庭の日」「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「6:30運動」の推進 取組の内容:学方向上推進委員会社会力育成部会にて、「早寝・早起き・朝ごはん運動」「6:30運動」「家庭の日」の啓発活動に取り組む		平成27年度現状						現状をもたらした原因													
		平成 30 年度		「家庭の日」「早寝・早起き・朝ごはん運動」「6:30運動」の推進し、市民意識の高揚を図る。		平成 28 年度		「家庭の日」「早寝・早起き・朝ごはん運動」「6:30運動」の推進し、市民意識の高揚を図る。		学力向上推進委員会社会力育成部会にて、「早寝・早起き・朝ごはん運動」「6:30運動」「家庭の日」の啓発活動に取り組む方針を確認し、地域懇談会では「家庭の日」「早寝・早起き・朝ごはん運動」「6:30運動」等について、保護者だけでなく地域の方々に取り組みの紹介や意見交換を行った。				市内小中学校からは、子ども達の生活習慣の確立や保護者の家庭教育の意識向上に役立っていると好評を得ているが、部活動との連携が不十分との声もある。							
																実施値		4回			
																				93.20%	
																				77.51%	
90.59%																					
43%																					
成果指標		社会力育成部会の開催回数		4回																	
		早寝が習慣化している児童生徒の率		95%																	
		早起きが習慣化している児童生徒の率		80%																	
		朝ごはんを食べている児童生徒の率		95%																	
		6:30運動の周知率(小中学校、PTA、区)		100%																	
④ 弁当の日の実施 取組の内容:弁当の日を実施することで献立づくり、買い出し、料理、調理、片づけまで、子どもが1人でつくることによる食への興味を引出し、食物、食肉などその命をいただき、命の尊さ、そして料理をつくる人、ご両親、給食センターで働く調理員、職員に関係する方々に感謝の気持ちを育む。		平成27年度現状						現状をもたらした原因													
		平成 30 年度		名護市内すべての小中学校において弁当の日を実施する。		平成 28 年度		名護市内小中学校14校において弁当の日を実施する。		子どもがつくる弁当の日」の提唱者「竹下和男氏」の講演会開催(参加者140名) 【実施校】屋我地小、真喜屋小、稲田小、安和小、大宮小、名護小、瀬喜田小、久志小、大北小、屋我地中、羽地中、名護中、屋部中、東江中、久志中、久辺中、大宮中				目標を上回る17校で実施した。平成30年度までの全校実施に向けて講演会等をおして啓発を行いたい。							
																実施値		17校			
																				1回	
																				1回	
成果指標		弁当の日実施校		目標値		21校		目標値		14校											
		弁当の日に関する講演会				1回				1回											
内 部 評 価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①		②		③		④		⑤		⑥		⑦						
			B		B		B														
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B																		
	上記評価とした理由又は特記すべき事項		家庭教育に対する事業はいいのだが、支援事業の繋がりが見えない。家庭を支援するためには、コミュニティ的な組織の中で推進する必要がある。 家庭教育の充実は最優先課題である。全ては、家庭教育から始まるため、特に保護者の子育ての重要性に重点をおく必要がある。																		
外 部 評 価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①		②		③		④		⑤		⑥		⑦						
			A		B		B		A												
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A																		
	上記評価とした理由又は特記すべき事項		②の講座は、中央公民館講座と重なった事業となっている。その他の事業にも他の課との重なりがあるので整理が必要ではないか。 家庭教育の重要性は誰もが認識して、事業としては充実した取り組みができていると思われる。継続することとその成果をどう学校教育や社会教育、高等教育機関へつなげるか、さらなる工夫を期待する。																		

具体的施策名		地域の教育力の充実				主管課		学校教育課、 地域力推進課 (社会教育課)		第2次名護市教育振興基 本計画での位置づけ		教育方針 個別目標 具体的施策		Ⅲ 1 (3)		学校・家庭・地域の連携・協力体制づくり 地域・家庭の教育力の再生 地域の教育力の充実	
目的		青少年の健全育成体制の充実及び家庭教育の支援を図るため、学校・家庭・地域及び関係機関が連携して、地域全体で子どもを育む体制を整えていきます。															
主な取組	①「子どもの家事業」の推進 取組の内容:放課後の居場所に困っている子どもとその父母を支援するために、地域の公民館等を活用して子どもたちの居場所「子どもの家」を設置し、地域の方々に協力を得て地域の子どもを育てます。		平成27年度現状						現状をもたらした原因								
			放課後等の子どもたちの居場所づくりとして、名護子育て支援塾に事業委託し公民館等を活用し子どもの家を設置して放課後の子どもの居場所づくりを行っているが、新規で2カ所の子どもの家が開所したが、開所できなかった子どもの家もある。						支援者の変更や会場の確保の問題により開所できなかった。新規に開所した子ども家については、学校からの要望や地域の支援者の協力により開所することができた。								
			目標		目標		目標		取組概要		成果及び反省点						
			地域の公民館等を活用し、放課後等における子ども達の安全・安心な環境を設け、地域の方々の参画を得ながら活動などの取り組む。		地域の公民館等を活用し、放課後等における子ども達の安全・安心な環境を設け、地域の方々の参画を得ながら活動などの取り組む。		・行政、関係団体との顔合わせ・事業説明 ・各区長会へ事業説明と協力依頼 ・総会、定例会(12回) ・研修会「夢を叶える黄金の5カ条」 ・研修会「インターネット・スマートフォン教育講演会」 ・研修会「普通救命講習」 ・研修会「ネット・スマホと上手に付き合うための親の学び講座」 ・さくら祭り特設子どもの家の実施		地域の支援者の協力により子どもの家が運営されている。支援者も研修会等に積極的に参加し、活動の場に活かしている。支援者の確保等の問題により、2カ所の子どもの家が開所できなかった。新規に開所した子ども家については、区からの要望や地域の支援者の協力により開所することができた。また、子どもサポーターの独自の動きにより、年度途中に閉所してしまった子どもの家がある。								
	成果指標	子どもの家実施数		平成30年度	目標値	20か所		平成28年度	目標値	20か所		実施値	18か所				
	②「学校・家庭・地域連携事業」の推進 取組の内容:学校・家庭・地域の教育力を向上させ、地域全体が一体となって子どもたちの健全育成に取り組むため、教師・保護者・地域住民が相互に交流を行い連携する体制を充実し、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の充実を図り、地域住民がサポーターとして学校の教育活動を支援する取組を推進する。		平成27年度現状						現状をもたらした原因								
			コーディネーターを各学校への配置から社会教育課に配置し、定例会を実施することで互いの情報交換、研修会等の企画・実施についてコーディネーターの資質向上にもつながり。、円滑に学校支援に取り組むことができ、地域コーディネーターの活動について適切に管理できるようになった。						学校によって地域コーディネーターに資料印刷や学校行事の準備などの雑務をさせることがあり、内容によってはコーディネーターへ謝金を支払えない部分もあったため。社会教育課に配置し、適切な管理することで情報共有が強化され、円滑に支援活動に取り組むことができる。								
			目標		目標		目標		取組概要		成果及び反省点						
教師・保護者・地域住民が相互に交流・連携することで、住民等の学習成果の活用機会の充実を図り、学校の教育活動の支援に取り組む。			教師・保護者・地域住民が相互に交流・連携することで、住民等の学習成果の活用機会の充実を図り、学校の教育活動の支援に取り組む。		・地域コーディネーターを配置(11人) ・「学校・家庭・地域連携事業」運営委員会の開催(2回) ・地域コーディネーター情報交換会の開催(40回) ・インターネット・スマホ教育講演会(1回) ・地域コーディネーター研修会(1回) ・読み聞かせボランティア研修会・交流会(3回) 学校支援ボランティア 延べ人数:37,523人 活動数:10,643件		コーディネーターの経験や資質及び学校側の事業への理解度が上がり、成果が期待できる。										
成果指標	地域コーディネーターの人数		平成30年度	目標値	12人		平成28年度	目標値	11人		実施値	11人					
	地域コーディネーター情報交換会回数				40回				40回			40回					
	学校支援ボランティア延べ人数				32,000人				32,000人			37,523人					
③ 取組の内容:		平成27年度現状						現状をもたらした原因									
		目標		目標		目標		取組概要		成果及び反省点							
成果指標			平成30年度	目標値			平成28年度	目標値			実施値						

内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦							
			B	B												
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B													
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	地域の教育力の低下は憂うべき状況である。地域の公民館を拠点とし、各支部毎の社会教育主事を中心に、コーディネーターを活用した、学校を巻き込んだコミュニティソーシャル的な取組みを推し進める必要がある。コーディネーターの継続年数が長い方など、研修を重ねられ資質が向上している。コーディネーターの交代があっても担当している地域活動が継続した取組となるよう資質向上の研修会をもっと多く持つ必要がある。多くの市民が地域コーディネーターの活動に興味関心を示し支援する取組も必要である。														
外部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦							
			B	A												
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		A													
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	子どもの家事業の取り組み概要に、研修会などが列記されていることに違和感があるが、各公民館等での見守り活動・居場所づくり活動は評価できる。もっと、子どもの家事業の事業内容などを保護者や子供へ周知してほしい。学校・家庭・地域連携事業は支援者やコーディネーターがその職務を十分に認識して活動するための研修が充実しており、コーディネータを中心に仕組みが安定した感があり、評価できる。今後さらなるブラッシュアップを期待したい。														

具体的施策名		社会教育団体の活性化						主管課		地域力推進課 (社会教育課)		第2次名護市教育振興基本計画での位置づけ		教育方針 Ⅲ 個別目標 1 具体的施策		学校・家庭・地域の連携・協力体制づくり 1 地域・家庭の教育力の再生 (5) 社会教育団体の活性化						
目的		青少年の健全育成体制の充実及び家庭教育の支援を図るため、学校・家庭・地域及び関係機関が連携して、地域全体で子どもを育む体制を整えていきます。																				
主な取組	① 各支所の社会教育主事による地域の社会教育団体等の支援・社会教育だより等の充実 取組の内容:地域の行事等に参画しながら、課題解決に向けた手立てを住民と一緒に考えて、社会教育団体支援を推進する。地域限定広報誌を活用し、情報を届けるだけでなく、広報誌を通じ住民同士が繋がり、地域が元気になるきっかけづくりになるよう情報発信する。		平成27年度現状						現状をもたらした原因													
			キッズダンスサークルの立ち上げや、地域行事のサポート、新規でスタートしたイベントの実行委員会の支援、各支部青少年育成協議会の事業のサポートや新規事業の企画・実施など、積極的に行っている。 地域限定広報誌については、屋部支所管内「虹」、屋我地支所管内「やがじ」、羽地支所管内「羽地」を発行している。社会教育だより「心」については、現在は発行していない。						社会教育主事が地域に出向き、、地域を元気にする活動を地域方々との交流や毎月情報を届ける広報誌で奨励し区長等のやる気を引き出すなど、地域が主体的に取り組むよう取り組んだ。 社会教育だより「心」については、市民のひろばと同じ内容となっていることから、休止ということなり、現在は発行していない。													
			平成30年度		目標		平成28年度		目標		各支所での社会教育主事の取組:(地域限定広報誌の発行、区長会や各区行事等への参加、地域住民と共に地域イベントや社会教育団体等の事業の企画、運営、実施、社会教育団体への活動支援、学校への支援) 地域限定広報誌各支所に派遣されている社会教育主事により、毎月各支所管内の地域の情報を取材し全世帯に配布しています。				取組概要				成果及び反省点 積極的な取り組みにより、地域活動が活発になっている状況もあるが、社会教育主事がどこまで関わり支援するのか、いかに地域が主体となった活動にしていけるか。 地域を元気にする取り組みや活動者の声を届けることで、住民相互が繋がるきっかけとなっている。			
					地域住民、社会教育団体が地域の課題や取り組みについて、自ら考え、行動できる形を目指す。 広報誌は情報を届けるだけでなく、広報誌を通じ住民同士が繋がり、地域が元気になるきっかけづくりになるよう情報発信する。				地域住民、社会教育団体が地域の課題や取り組みについて、自ら考え、行動できる形を目指す。 広報誌は情報を届けるだけでなく、広報誌を通じ住民同士が繋がり、地域が元気になるきっかけづくりになるよう情報発信する。													
	成果指標		広報誌の発行		目標値		毎月1回		目標値		毎月1回		実施値		毎月1回							
	② 「名護市青年ネットワーク連合会」「名護市婦人会」「名護市子ども会育成連絡協議会」等の活動の支援 取組の内容:社会教育団体の活動を支援するため、補助金の交付や指導者研修会を実施している。各団体とともに、時代に応じた組織の在り方や活動内容などについて考えるとともに、団体指導者研修会等を実施し、活動の活性化を支援します。		平成27年度現状						現状をもたらした原因													
			名護市子ども会育成連絡協議会と連携し、各区の子ども会育成者を対象に指導者研修会を実施した。また、名護市青年ネットワーク連合会と名護市青年エイサー祭り実行委員会は、団体統合に向けて検討会議を行い、統合に向けて調整を行っている。						名護市子ども会育成連絡協議会は、加入子ども会の減少により各区子ども会育成者へのプログラムや情報の提供、連携した育成活動ができない状況だった。市子連・社会教育課で連携し育成者研修会を行い、育成者研修と子ども育成活動に取り組むため。名護市青年ネットワーク連合会と名護市青年エイサー祭り実行委員会は、同じ方々が団体役員を兼務していることから、団体間で協議し、平成28年度は名護市青年ネットワーク連合会に団体の統合を予定している。													
			平成30年度		目標		平成28年度		目標		・名護市青年ネットワーク連合会、名護市青年エイサー祭り実行委員会の団体統合の実施 ・名護市青年ネットワーク連合会の活動支援 ・子ども会育成連絡協議会の活動支援 ・子ども会育成者研修会(3回) ・名護市PTA連合会の活動支援 ・名護市婦人会の活動支援 ・名護市婦人会指導者研修会 名護市子ども会育成連絡協議会は、加入していない区の子ども会や子ども育成団体に参加を呼びかけ事業を実施するなど、繋がり作りや団体加入の促進に向けて工夫を凝らし取組を行っています。 名護市青年ネットワーク連合会と名護市青年エイサー祭り実行委員会は、これまでの個々の活動を強化及び合理化するため団体統合を行い、加入団体と協力した名護市青年エイサー祭りの開催や女性会員の意識向上を目的に女性会員研修、各区青年会の交流と団体加入の促進を目的にスポーツ交流大会を開催し活動を行っております。 名護市婦人会は、婦人会員研修を実施し活動充実を図っております。また、市民のひろばを活用し市婦人会活動の紹介を行うなど、会員増に繋げる工夫を行っています。				取組概要				成果及び反省点 各団体と連携し団体や会員加入の促進や組織の改善に向けた取り組みや研修会の実施など、各団体とも積極的に活動を行いました。しかし、団体や会員の加入、役員の担い手の不足など、これまでと同様に課題が残る。今後も各団体と連携し、現在の社会状況に併せた団体の在り方や活動内容について情報交換をしながら、会員の資質向上と加入促進に向け継続的に支援していけるよう取り組んでいきます。			
					各団体の指導者等の資質の向上を図るため、研修活動を実施、支援し、自ら考え、自ら行動できる団体を目指す。				各団体の指導者等の資質の向上を図るため、研修活動を実施、支援し、自ら考え、自ら行動できる団体を目指す。													
成果指標		社会教育団体指導者研修会の参加者数		120人		120人		目標値		120人		実施値		124人								
		名護市青年ネットワーク連合会団体数		12団体		10団体																
		名護市婦人会会員数		400人		450人																
		子ども会会員数		235人		280人																
内部評価	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	それぞれの主な取組に対する評価 平成28年度の目標に対して行った取組概要が適切か 取組によって得られた成果及び反省点に対する評価 (A ・ B ・ C ・ D)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
			A	B									B	B								
	総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B							総合評価 (A ・ B ・ C ・ D)		B										
	上記評価とした理由又は特記すべき事項	社会教育主事が各支所に配属されて、地域活動での成果は高まっている感じがする。地域限定広報誌発刊以外にも地域活動にもっと積極的に取り組んでほしい。 社会教育関係団体の閉塞感は止まらない。各支部を中心に、リーダーの担い手を育成するために関係機関の連携する環境が望まれる。																				
外部評価	上記評価とした理由又は特記すべき事項		社会教育主事による広報誌の発行は地域住民の情報共有、地域の活性化等に成果をあげている。 社会教育団体の支援、指導者の育成は容易でなく、現代社会でコミュニティの重要性が認識されているにも関わらず、後回しにされがちな分野で、その取組が危惧される。 事業として担当職員は頑張っているとは思うが、子ども会、青年会、婦人会等については、様々な課題が山積しており全庁的な取組が必要と感じている。 機構改革等もあり、現場情報の流通する仕組みや、地域との連携体制など、点検が望まれる。																			